

2025年度

授業大要（シラバス）

SYLLABUS for STUDENTS

MATSUMOTO DENTAL UNIVERSITY

（第4・5・6学年）

松本歯科大学

2025 年度

授業大要（シラバス）

（第 4・5・6 学年）

松本歯科大学

3つのポリシー

教育目標を達成するために必要な3つのポリシー、すなわち「アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）」、「カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）」及び「ディプロマ・ポリシー（卒業認定に関する方針）」を制定しています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1. 歯科医師になろうとする強い意志を持っている。
2. 歯科医学を習得するために必要な基礎的な学力を備えている。
3. 生命科学を学ぼうとする意欲を備えている。
4. 相手を理解し、自分の意思を適確に伝えることができる。
5. 諸問題を抽出・理解し、自分の考えをまとめることができる。
6. 国際的視野で思考し社会に貢献しようと考えている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

松本歯科大学は豊かな人間性を有した歯科医師を育成するために、以下にカリキュラムポリシーを定める。

1. ディプロマポリシーを達成するために6年一貫の弾力的なカリキュラム編成を行う。
2. 歯科医師として具備すべき、教養、倫理観を育成するために人文科学系科目、社会科学系科目を設置する。
3. 歯科医学の基礎及び臨床科目の理解に必要な知識を育成するために、自然科学系科目を設置する。
4. 歯科医学を勉学する動機づけのために早期体験型科目を設置する。
5. 国際的視野で社会貢献するために必要な外国語能力やコミュニケーション能力を養成する科目を設置する。
6. 歯科医療の専門知識と技能を養成するために専門基礎科目及び専門臨床科目を設置する。
7. 歯科医師として必要な知識・技能・態度を修得するために、診療参加型臨床実習を行う。

ディプロマ・ポリシー（卒業に関する方針）

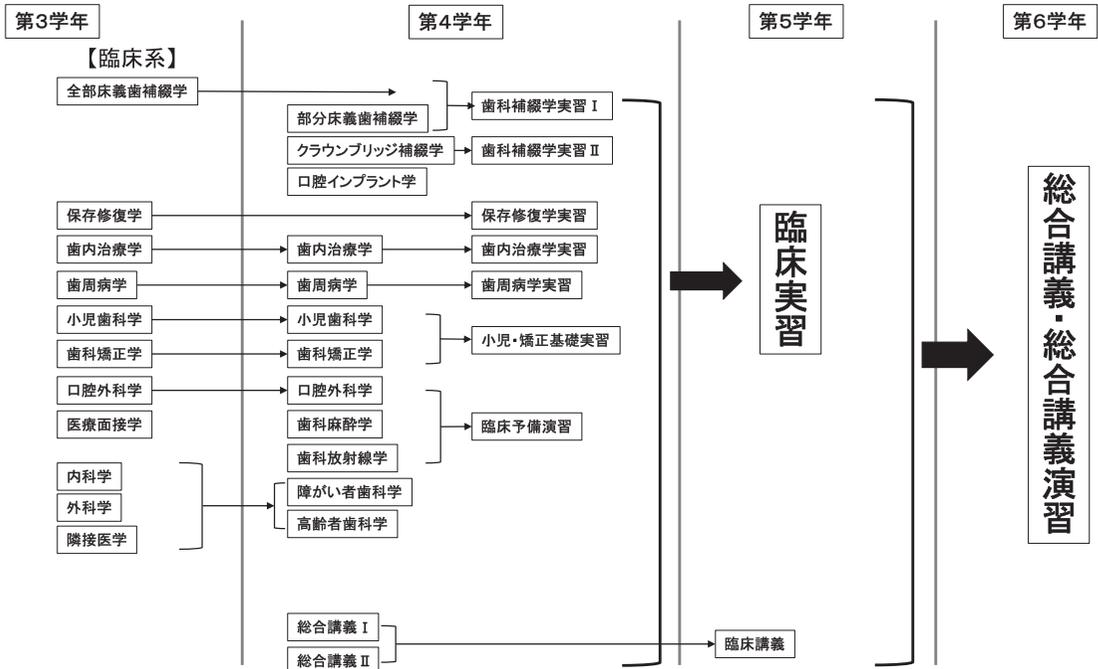
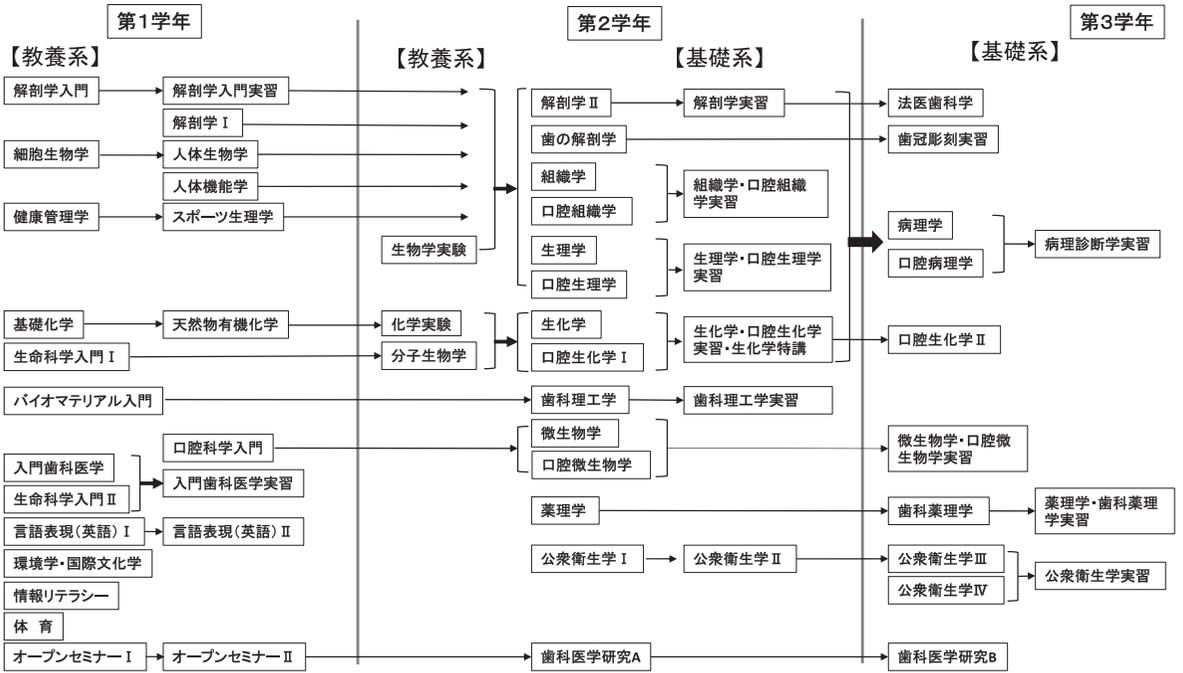
1. 歯科医師として倫理観を身につける。
2. 歯科医師として自己研鑽する態度を身につける。
3. 歯科医師として必要な基礎的知識を身につける。
4. 歯科医師として必要な基本的技能を身につける。
5. 歯科医学の問題を自然・社会・人文科学的方法を統合して解決する能力を身につける。
6. 歯科医師として国際的視野に基づいて社会貢献する態度を身につける。

2025年度卒業認定・学位授与の当該授業科目一覧表

ディプロマ・ポリシー

DP1	1. 歯科医師としての倫理観を身につける。
DP2	2. 歯科医師として自己研鑽する態度を身につける。
DP3	3. 歯科医師として必要な基礎的知識を身につける。
DP4	4. 歯科医師として必要な基本的技能を身につける。
DP5	5. 歯科医学の問題を自然・社会・人文科学的方法を統合して解決する能力を身につける。
DP6	6. 歯科医師として国際的視野に基づいて社会貢献する態度を身につける。

	No	科目名	ディプロマ・ポリシー							
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6		
教 養 教 育 科 目	A1010	入門歯科医学	○	○	○					
	A1020	生命科学入門Ⅰ		○	○			○		
	A1025	生命科学入門Ⅱ		○	○			○		
	A1030	入門歯科医学実習		○	○		○			
	A1041	人体機能学		○	○			○		
	A1046	環境学・国際文化学		○	○			○	○	
	A1050	体育		○	○			○		
	A1060	情報リテラシー		○	○		○	○		
	A1070	口腔科学入門		○	○			○		
	A1080	解剖学入門		○	○			○		
	A1100	言語表現(英語)Ⅰ		○	○				○	
	A1110	言語表現(英語)Ⅱ		○	○				○	
	A1160	基礎化学		○	○			○		
	A1170	天然物有機化学		○	○			○		
	A1175	バイオマテリアル入門		○	○			○		
	A1180	健康管理学		○	○			○		
	A1185	スポーツ生理学		○	○			○		
	A1190	細胞生物学		○	○			○		
	A1195	人体生物学		○	○			○		
	A1200	オープンセミナーⅠ		○	○			○		
	A1210	オープンセミナーⅡ		○	○			○		
	A2010	化学実験		○	○			○		
	A2020	生物学実験		○	○			○		
	A2030	分子生物学		○	○			○		
	専 門 教 育 科 目	B1090	解剖学Ⅰ		○	○			○	
		B1120	解剖学入門実習		○	○			○	
		B2050	解剖学Ⅱ		○	○			○	
		B2060	歯の解剖学		○	○			○	
		B2070	解剖学実習	○	○	○			○	
		B2080	組織学		○	○			○	
B2090		口腔組織学		○	○			○		
B2095		組織学・口腔組織学実習		○	○			○		
B2100		生理学		○	○			○		
B2110		口腔生理学		○	○			○		
B2120		生理学・口腔生理学実習		○	○			○		
B2130		生化学		○	○			○		
B2140		口腔生化学Ⅰ		○	○			○		
B3030		口腔生化学Ⅱ		○	○			○		
B2150		生化学・口腔生化学実習、生化学特講		○	○			○		
B2160		微生物学		○	○			○		
B2165		口腔微生物学		○	○			○		
B3050		微生物学・口腔微生物学実習		○	○			○		
B2170		薬理学		○	○			○		
B3060		歯科薬理学		○	○			○		
B3070		薬理学・歯科薬理学実習		○	○			○		
B2175		公衆衛生学Ⅰ		○	○			○		
B2176		公衆衛生学Ⅱ		○	○			○		
B3090		公衆衛生学Ⅲ		○	○			○		
C3095		公衆衛生学Ⅳ	○	○	○			○		
B3100		公衆衛生学実習	○	○	○			○		
B3110		病理学		○	○			○		
B3130		口腔病理学		○	○			○		
B3120		病理診断学実習		○	○			○		
B2180		歯科理工学		○	○			○		
B2190		歯科理工学実習		○	○			○		
C3150		全部床義歯補綴学		○	○			○		
C4010		歯科補綴学実習Ⅰ		○	○			○		
C4020		部分床義歯補綴学		○	○			○		
C4030		歯科補綴学実習Ⅱ		○	○			○		
C4040		クランンプラッジ補綴学		○	○			○		
C3160		歯冠形成実習		○	○			○		
C3170		保存修復学		○	○			○		
C4060		保存修復学実習		○	○			○		
C3180		小児歯科学		○	○			○		
C4065		小児歯科学		○	○			○		
C3190		歯科矯正学		○	○			○		
C4080		歯科矯正学		○	○			○		
C4095		小児・矯正基礎実習		○	○			○		
C3200		口腔外科学		○	○			○		
C4100		口腔外科学		○	○			○		
C4110		歯科麻酔学		○	○			○		
C4120		歯科放射線学		○	○			○		
C3205		歯内治療学		○	○			○		
C4130		歯内治療学		○	○			○		
C4140	歯内治療学実習		○	○			○			
C3210	歯周病学		○	○			○			
C4150	歯周病学		○	○			○			
C4160	歯周病学実習		○	○			○			
C3220	内科学		○	○			○			
C4105	口腔インプラント学		○	○			○			
C3254	法医学		○	○			○			
C4180	障がい者歯科学	○	○	○			○			
C4185	高齢者歯科学		○	○			○			
C4187	摂食嚥下療法		○	○			○			
C3251	医療面接学		○	○			○			
C3015	隣接医学		○	○			○			
B2210	歯科医学研究 A		○	○			○			
B3260	歯科医学研究 B		○	○			○			
C4192	臨床予備演習	○	○	○			○			
C4190	総合講義4年Ⅰ	○	○	○			○			
C4200	総合講義4年Ⅱ	○	○	○			○			
D5001	臨床講義	○	○	○			○			
E6010	総合講義6年	○	○	○			○			
E6050	総合講義演習	○	○	○			○			
D5500	臨床実習	○	○	○			○			
D5500	臨床実習	○	○	○			○			
	合 計		13	96	96	17	27	3		



2025年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧表

	学 科 目	授業 形態	履修 区分	履修数 時間	履修数 単位	学年	実務経験 職種	主な担当者 (実務経験のある教員)	実務経験と教育内容の関連性
	全部床義歯補綴学	講義	必修	60	2	3	歯科医師	樋口大輔、笠原年男、山口葉子、吉田裕哉、鷹股哲也	歯及び顎口腔系の喪失に伴う形態変化と機能喪失により低下したQOLを可撤性補綴装置により改善させる欠損補綴学の講義をする。
	歯科補綴学実習Ⅰ	実習	必修	90	3	4	歯科医師	樋口大輔、笠原年男、山口葉子、吉田裕哉、平井博一郎、谷内秀寿、篠原聖武、秋山友里	可撤性補綴装置により改善させる有床義歯の基本的な臨床手技ならびに製作法の実習を行う。
	部分床義歯補綴学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	樋口大輔、笠原年男、山口葉子、吉田裕哉	部分欠損患者の機能回復の手段となる部分床義歯を中心に学理と技法の講義を行う。
	歯科補綴学実習Ⅱ	実習	必修	90	3	4	歯科医師	樋口大輔、笠原年男、山口葉子、吉田裕哉、平井博一郎、谷内秀寿、篠原聖武、秋山友里	欠損歯列模型を用いて、部分欠損の補綴装置ならびに歯冠補綴装置を製作する術式について実習する。
	クラウンブリッジ補綴学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	樋口大輔、笠原年男、山口葉子、吉田裕哉	クラウンブリッジによる機能回復ならびにその術後管理に関する講義を行う。
	歯冠彫刻実習	実習	必修	60	2	3	歯科医師	金剛英二、亀山敦史、森 啓、小町谷美帆、小松佐保	歯冠修復物の形態的具備要件を臨床上で適切、かつ効率的に適用するために必要な歯冠形態、咬合関係の回復に関する実習を行う。
	保存修復学	講義	必修	60	2	3	歯科医師	亀山敦史、森 啓、小町谷美帆、小松佐保	歯の硬組織疾患に対する治療を適切に行うために、各々の疾患の病因・病態、ならびにそれらの疾患に対する診察、検査、診断、治療および術後の口腔健康管理に関する講義を行う。
	保存修復学実習	実習	必修	90	3	4	歯科医師	亀山敦史、山本昭夫、森 啓、小町谷美帆、小松佐保、中村圭吾、宮國 茜、奥瀬稔之	歯の硬組織疾患に対する治療を適切に行うために、各々の疾患の病因・病態、ならびにそれらの疾患に対する診察、検査、診断、治療および術後の口腔健康管理に関する実習を行う。
	小児歯科学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	大須賀直人、正村正仁、中村浩志、中山 聡	小児期から成人に至る口腔機能について講義をする。
		講義	必修	30	1	4			
	歯科矯正学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	川原良美	矯正歯科治療の意義と目的及び不正咬合に対する矯正歯科治療の必要性とその意義について講義をする。
		講義	必修	30	1	4			
	小児・矯正基礎実習	実習	必修	60	2	4	歯科医師	大須賀直人、正村正仁、中村浩志、川原良美、中山 聡、村岡理奈、中根 隆、橋本達也、丸山歩美	乳歯の窩洞形成法、歯冠修復法や歯内療法、小児のブラッシング方法、保険装置の作製法、矯正装置の構造と作用機序を理解し、それらの作製法および調整方法について実習を行う。
	口腔外科学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	栗原祐史、芳澤享子、佐藤 工	口腔外科領域の疾患（外傷、口腔粘膜疾患、腫瘍、嚢胞、顎関節疾患、唾液腺疾患、神経疾患、顎変形症）の原因・発生機序・症状および口腔領域に関わる全身疾患の病態と罹患患者に対する口腔外科的治療法について講義をする。
		講義	必修	60	2	4			
	歯科麻酔学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	澁谷 徹、谷山貴一	歯科治療における全身管理、局所麻酔、精神鎮静法、全身麻酔の基本、救急処置の基本、口腔顎顔面領域の慢性痛と神経麻痺、および医療事故防止のための安全管理について講義をする。
	歯科放射線学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	田口 明、杉野紀幸	歯科医療における画像検査法の特徴と適応ならびに画像診断、放射線の人体に対する影響、放射線防護の方法および放射線治療の基礎について講義をする。
	歯内治療学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	増田宣子	歯の健康を回復し、歯の機能を維持させるために、歯・歯周組織の構造と機能を理解し、歯の硬組織疾患、歯髄疾患、根尖性歯周組織疾患の概要、原因、症状、検査、診断および処置法について講義をする。
		講義	必修	30	1	4			
	歯内治療学実習	実習	必修	60	2	4	歯科医師	増田宣子、小町谷美帆、尾崎友輝、中村 卓、小松佐保、石岡康明、中村圭吾、宮國 茜、岩崎拓也、奥瀬稔之、甲田調子	触診を指挿し、臨床応用できる基本的な技術をマネキン、顎模型、レジン歯によるシミュレーションシステムにより実習する。
	歯周病学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	吉成伸夫、尾崎友輝、出分業々衣、中村 卓、石岡康明	歯周組織の形態的・機能的特性、歯周病の病因に基づいて歯周疾患の検査、診断、病態、分類、疫学について各種治療法と、予防法について講義をする。
		講義	必修	30	1	4			
	歯周病学実習	実習	必修	60	2	4	歯科医師	吉成伸夫、尾崎友輝、出分業々衣、中村 卓、石岡康明、田井康寛、原 美音	歯周病学の病因、理論を基に、臨床に必要な歯周病の診断、各種歯周治療法や術式などの基礎的技術を模型により実習を行う。
	内科学	講義	必修	60	2	3	医師	佐藤 晶、川 茂幸	医師として実務経験のある教員が、内科的疾患の病態と治療に関する身体の総合的かつ内科的な疾患を歯科医師としての関わりについて講義をする。
	口腔インプラント学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	樋口大輔、笠原年男、山口葉子、矢島安朝	インプラント治療を適切に説明し実践するために、インプラント治療の目的と意義、治療計画、埋入手術方法、装着後のメンテナンスまでの治療などについて講義を行う。
	障がい者歯科学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	配島弘之	スペシャルニーズのある（特別な対応を要する）人への歯科保健と歯科医療について講義をする。
	高齢者歯科学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	配島弘之	全身疾患を有する高齢者への歯科保健と歯科医療について講義をする。
	摂食嚥下療法学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	配島弘之	摂食嚥下機能障害を有する障害者・者ならびに高齢者への講義を行う。
	医療面接学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	森 啓	歯科臨床における医療面接について、倫理的配慮より適切に患者症状を聴取することができるようになるよう講義をする。
	隣接医学	講義	必修	30	1	3	医師	皮膚科：林 宏一、鈴木啓之 精神医学：石川絏一 耳鼻咽喉科：有賀あや子	それぞれの担当科で歯科口腔領域との関連疾患の診断、治療について講義をする。
	臨床実習	実習	必修	1575	35	5	歯科医師	吉成伸夫、山本昭夫、亀山敦史、増田宣子、黒岩昭弘、栗原祐史、芳澤享子、影山 徹、川原良美、大須賀直人、田口 明、内田啓一、配島弘之、澁谷 徹、樋口大輔	精巧なマネキンを使ってのシミュレーション実習、学生相互による診療行為、医局員による診療の見学と介助、さらには指導者の直接の監督下での診療行為を実施する。
	合 計			3015	83				
	省令で定める基準単位数				19				

総 目 次

第 4 学年.....	1
第 5 学年.....	147
第 6 学年.....	229
病院概要.....	293
施設概要図.....	296

第 5 学 年

第 5 学年目次

臨	床	講	義		149
	口	腔	解	剖	151
	口	腔	組	織	153
	口	腔	生	理	154
	口	腔	生	化	155
	口	腔	微	生	157
	口	腔	病	理	159
	歯	科	薬	理	161
	歯	科	理	工	163
	公	衆	衛	生	164
	保	存	修	復	166
	歯	周	病	学	168
	歯	内	治	療	170
	全	部	床	義	172
	部	分	床	義	174
	ク	ラ	ウ	ン	176
	口	腔	外	科	178
	歯	科	矯	正	180
	歯	科	放	射	182
	小	児	歯	科	183
	障	が	い	者	185
	摂	食	嚥	下	186
	歯	科	麻	酔	187
	医	療	面	接	189
臨	床	実	習		191
	保	存	修	復	193
	歯	科	補	綴	197
	歯	科	補	綴	199
	医	療	面	接	201
	口	腔	外	科	203
	歯	科	矯	正	205
	小	児	歯	科	207
	歯	科	放	射	209
	連	携	型	口	210
	歯	科	麻	酔	212
	歯	科	麻	酔	214
	歯	内	治	療	217
	歯	周	病	学	217
2025年度 5 学年 日程表					219
2025年度 第 5 学年 年間予定					226

臨床講義 (D5001)

第5学年
講義 必修

【担当者】

基礎系・臨床系各講座の教員

【一般目標 (GIO)】

临床上必要な歯科医学および口腔衛生に関して、歯科医師として具有すべき知識および技能を復習・修得する。

【行動目標 (SBOs)】

1. 必修の基本的事項に関する知識を修得する。
2. 人体の正常構造と機能を理解する。
3. 発生、成長、発達、加齢に関する知識を修得する。
4. 咬合と咀嚼に関する知識を修得する。
5. 病因、病態に関する知識を修得する。
6. 疫学に関する知識を修得する。
7. 主要症候に関する知識を修得する。
8. 医療面接と診察に関する知識を修得する。
9. 検査に関する知識を修得する。
10. 治療に関する知識を修得する。
11. 予防と健康管理・増進に関する知識を修得する。
12. 社会と保健医療福祉に関する知識を修得する。
13. 歯顎口腔の発育異常・加齢に伴う疾患について理解する。
14. 歯・歯髄・歯周組織の疾患について理解する。
15. 咬合・咀嚼障害について理解する。
16. 顎・口腔領域の疾患について理解する。
17. 歯科疾患の予防・管理について理解する。
18. 歯科材料と生体材料について理解する。

【教科書・参考書】

【教育 (学習) 方略 (LS)】

1. 歯科医師国家試験の出題基準に従い、各教科の内容を復習する。
2. 各教科間で関連する内容の有機的な結び付けを行うことを学生に促す。
3. 第109回～第118回の過去10年分の歯科医師国家試験問題につき各自学習する。

【フィードバック方法】

定期試験後に解説を行う。

【評価方法 (Evaluation)】

1. I期、II期の各定期試験を行う。
歯科医師国家試験の改編問題を出題範囲に加える。
2. 臨床講義I期・II期の評価はWeekly Testを30%、国試過去問試験を10%、定期試験を60%とします。臨床講義の成績(総合評価)は、各期の評価をI:II=1:2として算出し、65%以上を合格とする。

【注意事項】

【準備学習時間 (予習・復習)】

60分

予習: シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。(15分)

復習：講義ノート、配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。(45分)

【オフィスアワー】

各教科のオフィスアワーを参照のこと。

口腔解剖学

第5学年

【担当者】

教授：田所 治

【授業概要】

頭頸部の形態と構造
口腔の形態と構造
咽頭・喉頭の形態と構造
歯の形態と異常

【教科書・参考書】

〔教科書〕 脇田 稔・井出 吉信監修：「口腔解剖学 第2版」(医歯薬出版)
〔参考書〕 前田健康監訳：「ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖アトラス 第3版」(医歯薬出版)
秋田恵一・大川 淳監訳「体表からわかる人体解剖学」(南江堂)
山田英智訳：「図解解剖学事典」(医学書院)

【フィードバック方法】

Weekly Test 後の講義にて問題の解説をおこなう。

【注意事項】

教科書を必ず持参すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予 習：シラバスで講義内容を確認し、教科書の該当範囲を読んでおくこと。(60分)

復 習：講義資料をもとに講義内容を整理し、理解したうえで必要な内容を憶える。不明な点は教員に聞いて明らかにする。(30分)

【オフィスアワー】

随時

本館1階東棟 解剖学講座医局、本館地下 解剖学実習室
事前に e-mail にて確認すること。osamu.tadokoro@mdu.ac.jp

【授業日程】

		口 腔 解 剖 学	第5学年
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	担当者
1	3月28日(金) 2時限	口腔解剖学① 加齢と歯の喪失に伴う顎骨の変化 義歯と筋 歯の形態(1) 前歯	田所 治
2	5月30日(金) 2時限	口腔解剖学② 咀嚼と嚥下 歯の形態(2) 小臼歯	田所 治
3	6月27日(金) 1時限	口腔解剖学③ 感染・炎症と隙 歯の形態(3) 上顎大白歯	田所 治
4	9月5日(金) 3時限	口腔解剖学④ 咽頭・喉頭 歯の形態(4) 下顎大白歯	田所 治
5	10月17日(金) 3時限	口腔解剖学⑤ 上顎と下顎に分布する血管と神経 歯の形態(5) 乳歯全般	田所 治

口腔組織学

第5学年

【担当者】

教授：平賀 徹

【授業概要】

口腔の組織構造を再確認するとともに、臨床医学との関連性を理解する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕牛木辰夫：「入門組織学（改訂第2版）」（南江堂）

脇田 稔ほか編：「口腔組織・発生学（第2版）」（医歯薬出版）

〔参考書〕下野正基ほか編：「新口腔病理学（第2版）」（医歯薬出版）

田畑 純：「口腔の発生と組織（改訂4版）」（南山堂）

【フィードバック方法】

定期試験後に解説を行う。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行う。（15分）

復 習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識を整理する。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 随時 実習館2階 総合歯科医学研究所教授室

（事前予約が望ましい。e-mail：toru.hiraga@mdu.ac.jp）

【授業日程】

		口腔組織学	第5学年
回数	授業日	項目・講義内容	担当者
1	3月21日(金) 4時限	口腔組織学① 歯の組織構造とう蝕	平賀 徹
2	5月30日(金) 1時限	口腔組織学② 歯周組織の構造と歯周疾患	平賀 徹
3	7月11日(金) 3時限	口腔組織学③ 骨の組織構造と疾患	平賀 徹
4	9月5日(金) 2時限	口腔組織学④ 口腔・顔面の発生と先天異常	平賀 徹
5	10月10日(金) 1時限	口腔組織学⑤ 歯の発生と歯原性病変	平賀 徹

口腔生理学

第5学年

【担当者】

教授：安藤 宏

【授業概要】

生理学・口腔生理学における重要項目を再確認する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 プリントを配付する。

〔参考書〕 和泉 博之・浅沼 直和編：「ビジュアル生理学・口腔生理学」（学建書院）

【フィードバック方法】

定期試験後、正解率が低い問題を中心に補講またはイントラで解説する。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して参考書の該当ページを読み、予習すること。（15分）

復 習：配付されたプリントを復習し、参考書を利用して各自知識をまとめること。（45分）

【オフィスアワー】

木曜日 16：30～18：00

実習館3階 口腔生理学講座研究室

【授業日程】

口腔生理学				第5学年
回数	授業日	項目・講義内容	担当者	
1	3月21日(金) 3時限	口腔生理学① 神経、運動、感覚	安藤 宏	
2	5月30日(金) 3時限	口腔生理学② 体液、呼吸、循環	安藤 宏	
3	7月11日(金) 4時限	口腔生理学③ 消化、排泄、内分泌	安藤 宏	
4	9月5日(金) 4時限	口腔生理学④ 口腔の感覚、顎運動、顎反射	安藤 宏	
5	10月24日(金) 1時限	口腔生理学⑤ 咀嚼、嚥下、味覚	安藤 宏	

口腔生化学

第5学年

【担当者】

教授：宇田川信之

【授業概要】

第1学年から3学年までの「生化学・口腔生化学」関係の網羅的な講義内容全般の理解に立脚した上、第4学年におけるCBTに対する知識の補充を基盤として、「生化学・口腔生化学」の知識と臨床医学との関連性を理解することを最終目的とする。

また、歯科医師国家試験に向けての知識の総まとめのため、過去の国家試験出題問題（少なくとも10年間分）すべての出題問題を解いてみる（内容を理解することが最も重要）ことがこの1年間の必須事項である。

【教科書・参考書】

【教科書】 宇田川信之：「歯科国試パーフェクトマスター口腔生化学 第2版」（医歯薬出版）

【参考書】 宇田川信之他：「口腔生化学 第6版」（医歯薬出版）

金森孝雄：「口腔生化学サイドリーダー 第6版」（学建書院）

【フィードバック方法】

試験実施後、疑問や質問等がある場合は試験実施3日間以内にメールにて担当教員に送ること。その後、学生イントラ等で解説する。

【注意事項】

遅刻・欠席は認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で確認すること（10分）

復習：当該講義のWeekly Testの復習ノートを必ず作成すること（80分）

【オフィスアワー】

実習館2階 総合歯科医学研究所研究室

要予約 e-mail：nobuyuki.udagawa@mdu.ac.jp または tel：070-5014-3303

【授業日程】

		口 腔 生 化 学	第 5 学 年
回 数	授 業 日	項 目 ・ 講 義 内 容	担 当 者
1	3月28日(金) 1時限	口腔生化学① 骨の形成と吸収に関する細胞とその役割	宇田川信之
2	5月30日(金) 4時限	口腔生化学② 骨・象牙質・エナメル質の石灰化メカニズム 血清カルシウム代謝調節ホルモン（副甲状腺ホルモン・ビタミンD・カルシトニン）の作用 機序 ビタミン欠乏症の原因と症状 骨・象牙質・エナメル質の石灰化メカニズム ビタミン欠乏症の原因と症状	宇田川信之
3	7月11日(金) 2時限	口腔生化学③ 結合組織の生化学 結合組織を構成するコラーゲンやプロテオグリカンの構造とその特徴	宇田川信之
4	9月12日(金) 4時限	口腔生化学④ 免疫 異物の体内への侵入を防ぐために作用する各種免疫担当細胞の種類と役割	宇田川信之
5	10月24日(金) 2時限	口腔生化学⑤ 唾液の生化学 唾液の分泌メカニズムと唾液の各種成分とそれぞれの生理的役割	宇田川信之

口腔微生物学

第5学年

【担当者】

教授：吉田明弘

【授業概要】

感染症学の復習を行う。
新興・再興感染症、原虫感染症について講義する。

【教科書・参考書】

【教科書】川端重忠他編：「口腔微生物学・免疫学（第5版）」（医歯薬出版）
全国歯科衛生士教育協議会監修：「疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学 第2版」（医歯薬出版）
【参考書】寺尾 豊著：「歯科国試パーフェクトマスター 口腔微生物学・免疫学（第2版）」（医歯薬出版）
石原和幸他編：「口腔微生物学（第7版）」（学建書院）

【フィードバック方法】

定期試験実施後、正解率が低い問題に対し講義中に解説する。

【注意事項】

受講前の予習を前提として講義を進める。感染症学を体系的に学習する最後の機会なので休まず受講すること。
教科書、ノート、カラーペン、付箋を持参すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書等で予習を行うこと。（45分）
復 習：講義ノート、配付資料を用いて復習し、教科書等を利用して各自知識を整理する。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 16：30～17：30
本館5階東棟 微生物学講座研究室
要予約（akihiro.yoshida@mdu.ac.jp）（吉田）

【授業日程】

口腔微生物学				第5学年
回数	授業日	項目・講義内容	担当者	
1	4月4日(金) 1時限	感染症学総論 (院内感染を含む)	吉田 明弘	
2	6月6日(金) 1時限	化学療法薬と多剤耐性菌 (院内感染上問題となる微生物を含む)	吉田 明弘	
3	7月11日(金) 1時限	感染症学各論① 結核 梅毒	吉田 明弘	
4	9月12日(金) 3時限	感染症学各論② B型肝炎 C型肝炎 HIV感染症	吉田 明弘	
5	10月24日(金) 3時限	感染症学各論③ 非定型細菌感染症 原虫感染症	吉田 明弘	

口腔病理学

第5学年

【担当者】

教授：村上 聡

【授業概要】

1. 細胞損傷、修復、循環障害、炎症および腫瘍総論を復習する。
2. 病理診断の基礎的知識を復習する。
3. 代表的な歯の硬組織疾患、口腔領域の炎症性疾患、粘膜疾患、嚢胞、腫瘍および腫瘍性疾患を復習する。
4. 口腔に症状をあらわす代表的な全身疾患を復習する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕下野 正基・高田 隆編：「第3版新口腔病理学」(医歯薬出版)

〔参考書〕高木 實編：「口腔病変アトラス(第3版)」(文光堂)

【フィードバック方法】

定期試験や Weekly Test の低正答率項目については講義中に解説する。

【注意事項】

1. 授業に際して、以下のような場合は原則として欠席とする。
 - ①無断退出など
2. 講義に持参するもの
 - ①講義ノート、②教科書

【準備学習時間（予習・復習）】

予 習：講義内容に該当する国試過去問題を演習する。(60分)

復 習：講義で復習した知識をもとに再確認する。さらに疾患の名称、病態、病理組織像などを再確認して理解する。(90分)

【オフィスアワー】

随時 メールでの予約が望ましい。

本館5階東棟 病理学講座

村上：satoshi.murakami@mdu.ac.jp

【授業日程】

口腔病理学				第5学年
回数	授業日	項目・講義内容	担当者	
1	3月28日(金) 4時限	病理診断の基礎知識 ・ 口腔領域の嚢胞性疾患	村上 聡	
2	6月6日(金) 2時限	病理診断の基礎知識 ・ 口腔の粘膜疾患と粘膜腫瘍	村上 聡	
3	7月18日(金) 1時限	病理診断の基礎知識 ・ 顎骨の病変	村上 聡	
4	9月12日(金) 2時限	病理診断の基礎知識 ・ 菌原性腫瘍	村上 聡	
5	10月31日(金) 4時限	病理診断の基礎知識 ・ 唾液腺疾患	村上 聡	

歯科薬理学

第5学年

【担当者】

教授：荒 敏昭

【授業概要】

1. 薬物の作用に関する基本的事項（作用機序、薬理作用、副作用）を理解する。
2. 薬物の併用による作用の変化（薬物相互作用）について理解する。

【教科書・参考書】

【教科書】大谷啓一監修、鈴木邦明・戸刈彰史・青木和弘・兼松 隆・筑波隆幸編：「現代歯科薬理学（第6版）」（医歯薬出版）

【参考書】大浦 清・戸刈彰史監修、笠原正貴・兼松 隆・三枝 禎・十川紀夫・高橋俊介・八田光世編：「ポイントがよくわかるシンプル歯科薬理学（第3版）」（永末書店）

【フィードバック方法】

定期試験や演習課題実施後、正解率が低い問題に対して、解答例を学生イントラに掲載、または補講等で解説する。

【注意事項】

薬物の適応症、禁忌症などの理由（メカニズム）が重要である。
具体的な薬物名は各自で覚えるようにすること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で予習を行うこと。（15分）

- 1) 各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。

復 習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書を利用して各自知識をまとめること。（45分）

- 1) 授業の理解を図るため、必ず復習すること。
- 2) ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。

【オフィスアワー】

随時 実習館3階 薬理学講座教授室
toshiaki.ara@mdu.ac.jp（荒）

【授業日程】

歯科薬理学				第5学年
回数	授業日	項目・講義内容	担当者	
1	4月4日(金) 3時限	歯科薬理学① 薬物相互作用を中心に臨床実習に必要な薬理学的知識を理解する。	荒 敏昭	
2	6月6日(金) 3時限	歯科薬理学② 自律神経作用薬、筋弛緩薬、局所麻酔薬を中心に臨床実習に必要な薬理学的知識を理解する。	荒 敏昭	
3	7月18日(金) 2時限	歯科薬理学③ 抗凝固薬および出血傾向のスクリーニング検査を中心に臨床実習に必要な薬理学的知識を理解する。	荒 敏昭	
4	9月19日(金) 1時限	歯科薬理学④ 循環器作用薬および前負荷・後負荷を中心に臨床実習に必要な薬理学的知識を理解する。	荒 敏昭	
5	10月31日(金) 3時限	歯科薬理学⑤ ステロイド性抗炎症薬を中心に臨床実習に必要な薬理学的知識を理解する。	荒 敏昭	

歯科理工学

第5学年

【担当者】

教授：黒岩昭弘

【授業概要】

臨床で使用する各材料の特徴と使用方法について再確認する。

【教科書・参考書】

【教科書】中畷 裕・西山典宏・宮崎 隆・米山隆之他：「スタンダード歯科理工学（第8版）」（学建書院）

宮坂 平・玉置幸道他：「基礎歯科理工学（第1版）」（医歯薬出版）

ニューステージ化学図表（浜島書店）1年次購入

【参考書】2年次ノート、プリント

【フィードバック方法】

各試験によって得られた結果から、理解度の低い問題について講義中にフィードバックする。

【注意事項】

教科書は最新版のものを用意すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して講義内容について不明確な点を整理し確認すること。（30分）

復 習：配付資料を復習し、確実に理解すること。（30分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 随時

実習館1階 歯科理工学医局

日時について事前にE-mailで予約を入れること。

E-mail：akihiro.kuroiwa@mdu.ac.jp

【授業日程】

回数		授業日	項目・講義内容	担当者
1	3月28日(金) 3時限	印象・模型材料 印象、模型材料の種類と、その特徴および使い分けを説明する。	黒岩 昭弘	
2	6月6日(金) 4時限	レジン系材料 充填用材料、前装用材料・レジブロックについて説明する。	黒岩 昭弘	
3	7月18日(金) 4時限	金属材料 金属材料の種類と、その特徴および使用方法について説明する。	黒岩 昭弘	
4	10月3日(金) 3時限	セラミック材料 前装用陶材、ニューセラミックスについて説明する。	黒岩 昭弘	
5	10月24日(金) 4時限	合着用材料 合着用材料の種類と、その特徴および使い分けを説明する。	黒岩 昭弘	

公衆衛生学

第5学年

【担当者】

教授：山賀孝之
講師：定岡 直
特任教授：牧 茂

【授業概要】

国家試験の過去問題の内容を解析し、齲蝕、歯周疾患その他の歯科疾患予防と「衛生学・公衆衛生学」の範囲も含めて解説する。また、予防歯科の地域保健および国際保健における展開を理解する。

歯科医師として、医療現場での適切な歯科保健・医療・福祉を实践するために、患者の人権と医の倫理、関連法規、診療記録等についての知識を養う。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 安井利一他編：「口腔保健・予防歯科学」（医歯薬出版）
〔参考書〕 矢ヶ崎雅・牧 茂：「社会歯科学」（MDU 出版）
安井利一他編：「スタンダード衛生・公衆衛生」（学建書院）
尾崎哲則他編：「スタンダード社会歯科学第8版」（学建書院）
厚生労働省ホームページ
国民福祉と介護の動向（財団法人厚生労働統計協会）
国民衛生の動向（財団法人厚生労働統計協会）

【フィードバック方法】

試験の正答、評価への疑問や質問は担当教員へ申し出ること。その後 Q&A 形式で学生イントラ、補講等で解説する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予 習：シラバスおよび事前連絡による教科書の該当範囲を熟読する。(30分)

復 習：講義ノートの整理。暗記項目は何回も繰り返して完全に暗記する。(60分)

【オフィスアワー】

月曜～金曜日

随 時

本館1階東棟 公衆衛生学講座研究室

【授業日程】

公衆衛生学			
			第5学年
回数	授業日	項目・講義内容	担当者
1	4月18日(金) 3時限	公衆衛生学① 患者の人権・医の倫理 インフォームドコンセント等の患者の権利 研究倫理	牧 茂
2	6月20日(金) 3時限	公衆衛生学② 予防と健康管理・増進 歯科疾患の予防	山賀 孝之 定岡 直
3	7月18日(金) 3時限	公衆衛生学③ 齲蝕、歯周疾患のリスクと管理	山賀 孝之 定岡 直
4	10月3日(金) 2時限	公衆衛生学④ 医療関連法規 地域社会における保健 国際協力と交流	牧 茂
5	10月17日(金) 4時限	公衆衛生学⑤ 感染症対策、食品保健・食育 感染症対策、食品保健・食育に関する国家試験の過去問題を解析し、内容を理解しながら必要項目を暗記する。	山賀 孝之 定岡 直
6	10月31日(金) 2時限	公衆衛生学⑥ 医療保険 介護保険	牧 茂
7	11月14日(金) 4時限	公衆衛生学⑦ 医療統計、歯科疾患の疫学 医療統計、歯科疾患の疫学、EBMについての国家試験の過去問題を解析する。 また、最新の医療統計データについての重要項目を解説する。	山賀 孝之 定岡 直

保存修復学

第5学年

【担当者】

教授：亀山敦史
講師：小松佐保
客員教授：大槻昌幸
非常勤講師：英保裕和

【授業概要】

菌の硬組織疾患に対する治療を適切に行うために、各々の疾患の病因・病態に関する知識、ならびにそれらの疾患に対する診察、検査、診断、治療および術後の口腔健康管理に関する高度な知識を修得する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 千田 彰・宮崎真至・林 美加子・向井義晴・斎藤隆史編：「保存修復学（第7版）」（医歯薬出版）
田上順次・奈良陽一郎・山本一世・斎藤隆史監修：「第六版 保存修復学21」（永末書店）
日本歯科保存学会編：「う蝕治療ガイドライン（第2版 詳細版）」（永末書店）
(http://www.hozon.or.jp/member/publication/guideline/file/guideline_2015.pdf からダウンロード可)
日本歯科保存学会編：「根面う蝕の治療ガイドライン—非切削でのマネジメント—」
(http://www.hozon.or.jp/member/publication/guideline/file/guideline_2022.pdf からダウンロード可)
千田 彰・田上順次・寺下正道・片山 直編集：「保存修復クリニカルガイド（第2版）」（医歯薬出版）
〔参考書〕 大槻昌幸編著：「患者さんが納得する医療ホワイトニング説明 BOOK」（ヒョーロン・パブリッシャーズ）

【フィードバック方法】

- ・理解できない事項や確認したい事項がある場合には積極的にオフィスアワーを活用すること。
- ・メールでの質問も受け付けます（atsushi.kameyama@mdu.ac.jp）。
- ・Weekly Test や定期試験で正答率の低い問題については学生イントラに解説を掲載するので確認すること。

【注意事項】

- ・講義は欠席しないこと。やむを得ず欠席した場合は速やかに欠席届を提出すること。
- ・教科書を必ず持参すること。
- ・講義中にポイントとなる事項などは、教科書の該当ページにメモを取ること。
- ・講義の撮影・録画は認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分
予 習：シラバスで講義内容を確認する。(30分)
復 習：関連する国家試験過去問題をチェックする。(30分)

【オフィスアワー】

月曜日から金曜日（原則講義を行った日）17時30分以降
本館3階東棟 歯科保存学講座 教授室

【授業日程】

保存修復学				第5学年
回数	授業日	項目・講義内容	担当者	
1	4月4日(金) 4時限	ホワイトニング治療の実際 1. 歯の変色の原因と診断 2. 歯の漂白治療の種類と概要 3. 審美歯科治療のコンプライアンス	大槻 昌幸	
2	5月2日(金) 4時限	日本歯科保存学会編「う蝕治療ガイドライン 第2版」の概要 1. エナメル質の初期う蝕への非切削での対応 2. 初発う蝕に対する検査・診断と切削介入の決定 3. 中等度の深さの象牙質う蝕におけるう蝕の除去範囲	亀山 敦史	
3	6月13日(金) 3時限	日本歯科保存学会編「根面う蝕の診療ガイドライン」の概要 1. 根面う蝕の疫学および臨床的特徴 2. 根面う蝕の非切削でのマネジメント 3. 根面う蝕の切削治療 日本歯科保存学会編「歯髄保護の診療ガイドライン」の概要 1. 深在性う蝕における歯髄保護 2. 露髄の可能性のある深在性う蝕への対応と薬剤選択	亀山 敦史	
4	7月25日(金) 4時限	協同学修① ・問題演習 ・グループ学修	亀山 敦史 小松 佐保	
5	9月19日(金) 3時限	Minimal Intervention を再考する (真の MI とは?) - There is no little thing. -	英保 裕和	
6	11月14日(金) 2時限	協同学修② ・問題演習 ・グループ学修	亀山 敦史 小松 佐保	

歯 周 病 学

第5学年

【担当者】

臨床教授：二宮雅美、田口洋一郎

助 教：中村 卓

【授業概要】

1. 歯周組織検査、診断、治療計画
2. 歯周基本治療
3. 口臭
4. 咬合性外傷
5. 歯周外科療法（歯周組織再生療法）

【教科書・参考書】

〔教科書〕 吉江弘正・伊藤公一・村上伸也・申 基喆編：「臨床歯周病学（第3版）」（医歯薬出版株式会社、2013）

野口俊英編：「最新の歯周外科手術を基本からマスターしよう—基本から高度症例への応用まで—」（第1歯科出版、2010）

〔参考書〕 吉江弘正・米山武義・吉成伸夫編：「高齢者への歯周治療と口腔管理」（インターアクション、2018）

【フィードバック方法】

疑問がある場合にはオフィスアワーを利用し質問に来ること。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認し、事前に講義概容について教科書・参考書等で予習を行うこと。（15分）

復 習：講義内容を復習し、教科書・参考書を利用して各自理解を深める。（45分）

【オフィスアワー】

月～金曜日 18：00～19：00

本館5階西棟 歯科保存学講座医局

【授業日程】

歯 周 病 学				第 5 学年
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	担当者	
1	4月11日(金) 2時限	歯周病学① 歯周病の病因について	中村 卓	
2	5月9日(金) 4時限	歯周病学② 歯周疾患の治療計画 歯周病治療の流れ 1. 医療面接、インフォームド・コンセント 2.モチベーション 3. 歯周基本治療 4. 再評価検査 5. 歯周外科療法 6. 口腔機能回復療法 7. 歯周維持療法 (SPT) 8. メインテナンス	中村 卓	
3	6月13日(金) 4時限	歯周病学③ 歯周形成外科手術について	田口洋一郎	
4	10月3日(金)	歯周病学④、⑤ 歯周外科治療の基本と最新の歯周組織再生療法	二宮 雅美	
5	4、5時限			
6	11月7日(金) 4時限	歯周病学⑥ 口臭の原因、診断、治療について 咬合性外傷とその治療法について	中村 卓	

歯内治療学

第5学年

【担当者】

教授：増田宜子

【授業概要】

講義・基礎実習で修得した知識・技能をどのように臨床実習に生かして、水準1・2レベルの自験ケースに対応するかについて教授する。また、一連の治療に関する動画を供覧する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 勝海一郎他：「歯内治療学（第6版）」（医歯薬出版）

〔参考書〕 興地隆史他編：「第6版エンドドンティクス」（永末書店）

S. Cohen 他：「Pathways of the Pulp 12th ED」（Mosby）

【フィードバック方法】

定期試験については解説時間、Weekly Test については講義のはじめに前回の解答と解説を行う。

【注意事項】

すでに学習した内容ではあるが、臨床実習中に気付いたことや疑問を中心に講義後の復習を十分行うこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：3年後期、4年前期の講義と4年後期の基礎実習で学習した教科書・ノートを復習する。臨床実習での疑問点を質問できるようまとめる。(15分)

復習：臨床実習に生かせるよう、教科書・講義プリントを見直し学習する。(45分)

【オフィスアワー】

月曜日から金曜日 18:00～19:00

本館4階西棟 歯科保存学講座教授室

【授業日程】

歯内治療学			
			第5学年
回数	授業日	項目・講義内容	担当者
1	4月11日(金) 1時限	臨床講義の進め方、定期試験について 1. 歯髄疾患 2. 歯髄保存療法 3. 歯髄除去療法 (高齢者への対応含む)	増田 宜子
2	5月9日(金) 3時限	1. 根尖性歯周疾患 2. 根尖性歯周疾患の治療 (高齢者への対応含む)	増田 宜子
3	6月13日(金) 2時限	歯内-歯周疾患 緊急処置 偶発症と安全対策	増田 宜子
4	8月22日(金) 3時限	根管処置 (髄室開拓、根管形成 手用 Ni-Ti) 根管処置 (化学的清掃、根管貼薬、仮封)	増田 宜子
5	9月19日(金) 4時限	根管充填 (側方加圧、垂直加圧)	増田 宜子
6	11月7日(金) 3時限	まとめ	増田 宜子

全部床義歯補綴学

第5学年

【担当者】

講師：吉田裕哉
特任教授：鷹股哲也

【授業概要】

全部床義歯補綴学のなかでも臨床実習に特に関連する内容について復習を行う。同時に行われる臨床実習により得られる実践的な知識も加えて、出題された国家試験の内容をキーワード抽出により意識し、補綴歯科診療のポイントを確認する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 細井紀雄他編「無菌顎補綴治療学（第4版）」（医歯薬出版）
細井紀雄他編：「コンプリーテデンチャーテクニク（第6版）」（医歯薬出版）
岩田隆紀ほか編：「歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドブック」（クインテッセンス出版）
〔参考書〕 山下秀一郎編：「有床義歯補綴学」（永末書店）
藍 稔：「補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識」（学研書院）
山縣健佑・黒岩昭弘：「図説 無菌顎補綴学」（学建書院）
黒岩昭弘：「全部床義歯学サイドリーダー（第5版）」（学建書院）

【フィードバック方法】

講義、実習内容の質問は担当教員に申し出ること。必要に応じて学生イントラ、補講等で解説する。

【注意事項】

欠席は特別な理由がない限り認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。（15分）
復 習：講義中に指定した教科書の項目や写真を中心に講義内容を復習すること。（45分）

【オフィスアワー】

講義終了時から当日17：30まで
樋口大輔、吉田裕哉：本館4階東棟 歯科補綴学講座研究室
鷹股哲也：本館2階北棟 共同教授室
いずれも事前連絡、予約が望ましい。

【授業日程】

全部床義歯補綴学				第5学年
回数	授業日	項目・講義内容	担当者	
1	4月4日(金) 2時限	全部床義歯補綴学① 印象採得	鷹股 吉田	哲也 裕哉
2	5月16日(金) 1時限	全部床義歯補綴学② 顎間関係記録	鷹股 吉田	哲也 裕哉
3	6月13日(金) 1時限	全部床義歯補綴学③ ろう義歯試適	鷹股 吉田	哲也 裕哉
4	7月25日(金) 1時限	全部床義歯補綴学④ 義歯装着と術後管理	鷹股 吉田	哲也 裕哉
5	10月3日(金) 1時限	スポーツ歯科医学	鷹股 吉田	哲也 裕哉
6	11月21日(金) 1時限	有床義歯補綴治療の実際	鷹股 吉田	哲也 裕哉

部分床義歯補綴学

第5学年

【担当者】

講師：吉田裕哉

【授業概要】

部分床義歯補綴学のなかでも臨床実習に特に関連する内容について復習を行う。同時に行われる臨床実習により得られる実践的な知識も加えて、出題された国家試験の内容をキーワード抽出により意識し、補綴歯科診療のポイントを確認する。

【教科書・参考書】

- [教科書] 藍稔ほか編：「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（第4版）」（学建書院）
大久保力廣ほか編：「パーシャルデンチャーテクニック（第6版）」（医歯薬出版）
岩田隆紀ほか編：「歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドブック」（クインテッセンス出版）
[参考書] 赤川安正ほか編：「歯学生のパーシャルデンチャー（第7版）」（医歯薬出版）

【フィードバック方法】

講義、実習内容の質問は担当教員に申し出ること。必要に応じて学生イントラ、補講等で解説する。

【注意事項】

欠席は特別な理由がない限り認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

- 予習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。（15分）
復習：講義中に指定した教科書の項目や図を中心に講義内容を復習すること。（45分）

【オフィスアワー】

講義終了時から当日17：30まで
吉田裕哉：本館4階東棟 歯科補綴学講座研究室
いずれも事前連絡、予約が望ましい。

【授業日程】

部分床義歯補綴学				第5学年
回数	授業日	項目・講義内容	担当者	
1	4月18日(金) 2時限	部分床義歯補綴学① 部分床義歯の構成要素	吉田 裕哉	
2	5月23日(金) 1時限	部分床義歯補綴学② 部分床義歯の設計とサベイング	吉田 裕哉	
3	6月20日(金) 2時限	部分床義歯補綴学③ 欠損歯列の病態	吉田 裕哉	
4	8月22日(金) 1時限	部分床義歯補綴学④ 前処置 印象採得 顎間関係記録 ろう義歯試適 装着	吉田 裕哉	
5	9月19日(金) 2時限	部分床義歯補綴学⑤ フレームワーク	吉田 裕哉	
6	10月31日(金) 1時限	部分床義歯補綴学⑥ 義歯修理	吉田 裕哉	

クラウンブリッジ補綴学

第5学年

【担当者】

講師：吉田裕哉

【授業概要】

クラウンブリッジ補綴学のなかでも臨床実習に特に関連する内容について復習を行う。同時に行われる臨床実習により得られる実践的な知識も加えて、出題された国家試験の内容をキーワード抽出により意識し、補綴歯科診療のポイントを確認する。

【教科書・参考書】

- 〔教科書〕 矢谷博文ほか：「クラウンブリッジ補綴学（第6版）」（医歯薬出版）
三浦宏之ほか編：「クラウンブリッジテクニック（第2版）」（医歯薬出版）
岩田隆紀ほか編：「歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドブック」（クインテッセンス出版）
- 〔参考書〕 石上 元ほか編：「冠橋義歯補綴学テキスト（第5版）」（永末書店）
菅沼岳史：「クラウンブリッジ補綴学サイドリーダー（第6版）」（学建書院）

【フィードバック方法】

講義、実習内容の質問は担当教員に申し出ること。必要に応じて学生イントラ、補講等で解説する。

【注意事項】

欠席は特別な理由がない限り認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：事前にシラバスに該当する内容を教科書で確認し、授業の目的を理解しておくこと。（15分）

復習：講義終了後は講義内容についてノート、教科書、講義資料を復習し、理解できていないところがないか再確認すること。（45分）

【オフィスアワー】

講義終了時から当日17：30まで

吉田裕哉：本館4階東棟 歯科補綴学講座研究室

いずれも事前連絡、予約が望ましい。

【授業日程】

クラウンブリッジ補綴学				第5学年
回数	授業日	項目・講義内容	担当者	
1	4月18日(金) 1時限	クラウンブリッジ補綴学① 歯冠補綴装置の概要、診察・治療計画立案・前処置	吉田 裕哉	
2	5月16日(金) 2時限	クラウンブリッジ補綴学② 支台菌形成、支台築造	吉田 裕哉	
3	6月20日(金) 1時限	クラウンブリッジ補綴学③ 印象採得、プロビジョナルレストレーション、顎間関係記録	吉田 裕哉	
4	8月22日(金) 2時限	クラウンブリッジ補綴学④ 装着と術後管理	吉田 裕哉	
5	9月12日(金) 1時限	クラウンブリッジ補綴学⑤ 前装冠・オールセラミッククラウン	吉田 裕哉	
6	11月14日(金) 1時限	クラウンブリッジ補綴学⑥ ブリッジ	吉田 裕哉	

口腔外科学

第5学年

【担当者】

教授：栗原祐史、芳澤享子
講師：佐藤 工
助教：渡邊遊里

【授業概要】

第3、4学年の講義で学んだ基礎知識の中で、特に臨床現場で必要とされる知識を中心に学習する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕白砂兼光・古郷幹彦：「口腔外科学（第4版）」（医歯薬出版）
榎本昭二・道 健一・天笠光雄他：「最新口腔外科学（第5版）」（医歯薬出版）
山根源之他編：「口腔内科学」（永末書店）
〔参考書〕道 健一監修：「改訂版 口腔顎顔面疾患カラーアトラス」（永末書店）
栗田賢一・覚道健治：「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療（第5版）」（永末書店）

【フィードバック方法】

試験実施後、疑問や質問等がある場合は担当教員に確認すること。

【注意事項】

実際の医療に携わることを念頭においた知識の習得に励むこと。
自らが診療するつもりで、正しい診察、検査が行えるよう確実な知識を身につけること。
不明な点はまず自分自身で調べて、理解するように努力すること。主体的に学習する能力を習得すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：事前に第3、4学年の講義資料および教科書、参考書を用いて、該当する部分を予習する。（15分）

復 習：講義終了後は講義資料を用いて復習する。不明な点があれば、担当教員に質問し、確実に理解する。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日・水曜日 17：30～18：30

本館5階東棟 口腔顎顔面外科学講座教授室、医局

オフィスアワー以外で質問等ある場合は事前に日程を確認すること

【授業日程】

		口 腔 外 科 学	第 5 学 年
回 数	授 業 日	項 目 ・ 講 義 内 容	担 当 者
1	4月18日(金) 4時限	口腔外科における診察と診断診断に必要な医療面接と診察について 1. 主訴、現病歴を細かく聞き取る。 2. 全身疾患を理解する。 3. 全身的症候を読み取る。 4. 局所的症候を読み取る。	栗原 祐史
2	5月16日(金) 4時限	口腔外科疾患の診断に必要とされる検査法・画像診断 ・エックス線写真 ・CT ・MRI・超音波 ・シンチグラフィ ・PET - CT 血液検査 病理組織検査 細胞診 全身疾患に関連する検査	渡邊 遊里
3	6月20日(金) 4時限	腫瘍 ・良性腫瘍の治療法 ・悪性腫瘍の治療法 切除術 頸部郭清術 再建術 化学療法 放射線療法	芳澤 享子
4	8月22日(金) 4時限	損傷・軟組織損傷 損傷の種類 ・歯牙の損傷 歯の脱臼 歯の破折 ・顎骨骨折 歯槽骨骨折 上顎骨骨折 下顎骨骨折 頬骨骨折 吹き抜け骨折 鼻骨骨折	芳澤 享子
5	10月10日(金) 4時限	顎変形症 ・顎変形症の手術 嚢胞 ・嚢胞の治療法	佐藤 工
6	11月14日(金) 3時限	口腔外科小手術外来で行われる口腔外科手術とその手技について ・外科基本手技 消毒、局所麻酔、切開、剥離、止血、縫合 ・抜歯術 ・歯根端切除術 ・歯牙移植術	渡邊 遊里

歯科矯正学

第5学年

【担当者】

教授：川原良美
非常勤講師：山口徹太郎

【授業概要】

不正咬合の病因・病態と臨床的対処法を理解するために、不正咬合の診察、検査、分析、診断、治療方法、保定及び偶発症・併発症について、矯正歯科臨床に必要な基本的知識の確認とより高度な知識を修得する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 飯田順一郎他、編：「歯科矯正学 第6版」(医歯薬出版)
〔参考書〕 西井康、他編：「歯科矯正学エッセンシャルテキスト 第1版」(末永書店)

【フィードバック方法】

講義内容等の質問を適時受け付ける。

【注意事項】

教科書を使用し、知識を確認すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分
予習：各回の授業内容について事前に教科書で予習を行うこと。(15分)
復習：講義内容について講義資料・教科書を用いて復習すること。(45分)

【オフィスアワー】

月～金曜日 原則として17：30以降
本館2階東棟 歯科矯正学講座医局 (E-mail：yoshimi.kawahara@mdu.ac.jp)

【授業日程】

歯科矯正学				第5学年
回数	授業日	項目・講義内容	担当者	
1	4月25日(金) 1時限	・前年度のまとめ ・教科書(新版)の内容	川原 良美	
2	5月9日(金) 2時限	・歯科矯正学臨床論①：診断・検査	川原 良美	
3	6月27日(金) 3時限	・歯科矯正学臨床論②：乳歯列期・混合歯列期の矯正歯科治療	川原 良美	
4	7月25日(金) 2時限	・歯科矯正学臨床論③：永久歯列期の矯正歯科治療	川原 良美	
5	10月10日(金) 2時限	「従来の矯正歯科治療から昨今の矯正歯科治療の進化」 －安心・安全な矯正歯科治療のために－	山口徹太郎	
6	11月14日(金) 2時限	・歯科矯正学臨床論④：チーム医療の中の矯正歯科治療	川原 良美	

歯科放射線学

第5学年

【担当者】

教授：田口 明
准教授：杉野紀幸
講師：長内 秀
助教：山田真一郎

【授業概要】

歯科医療における画像検査法の特徴と適応ならびに画像診断について十分な知識を習得するとともに、放射線の人体に対する影響、放射線防護の方法ならび放射線治療の基礎について理解し習得する。

【教科書・参考書】

【参考書】勝又明敏・浅海淳一・田口 明・森本泰宏編集主幹：「解説と例題でわかる歯科放射線テキスト」（永末書店）

【フィードバック方法】

試験において正解率が特に低い問題について詳細な説明を行う。

【注意事項】

講義内容の不明点は、積極的に質問し解決すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。（15分）

復 習：講義ノート、配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。（45分）

【オフィスアワー】

金曜日 18：00～19：00

本館5階西棟 歯科放射線学講座研究室

【授業日程】

回数		授業日	項目・講義内容	担当者
1	4月25日(金) 3時限	画像読影・画像検査法	長内 秀	
2	5月16日(金) 3時限	画像診断（顎骨・口腔隣接領域）	山田真一郎	
3	7月4日(金) 4時限	放射線治療	田口 明	
4	8月29日(金) 3時限	放射線の影響と防護	山田真一郎	
5	10月10日(金) 3時限	特殊検査画像の実際(1)	長内 秀	
6	11月21日(金) 3時限	特殊検査画像の実際(2)	長内 秀	

小児歯科学

第5学年

【担当者】

教授：大須賀直人

准教授：正村正仁、中村浩志

講師：中山 聡、黒岩博子

【授業概要】

小児期から成人に至る口腔機能を維持、増進することを目的に全身と口腔領域の正常な成長発育、口腔領域に発生する疾患や異常について成長発育を考慮した予防法、治療法ならびに口腔健康管理を改めて理解し習得する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕大須賀直人他：「小児の口腔科学（第5版）」（学研書院）

〔参考書〕大須賀直人他：「小児歯科学基礎・臨床実習（第3版）」（医歯薬出版）

大須賀直人他：「小児歯科学（第6版）」（医歯薬出版）

大須賀直人他：「乳歯列における外傷歯の診断と治療（第2版）」（クイッテセンス出版）

大須賀直人他：「歯科医師のための小児科学入門」（MDU 出版会）

大須賀直人他：「乳幼児の口と歯の健診ガイド（第3版）」（医歯薬出版）

大須賀直人他：「小児歯科学 ベーシックテキスト（第3版）」（永末書店）

【フィードバック方法】

配布資料、教科書、ノートを確認してフィードバックする。

【注意事項】

5学年であることを自覚し、言語、行動や身だしなみに気をつけること。

教科書は必ず持参すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。（15分）

復習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日

15：30～18：30

本館2階東棟 小児歯科学講座医局

【授業日程】

小児歯科学				第5学年
回数	授業日	項目・講義内容	担当者	
1	4月26日(金) 2時限	小児の齲蝕予防と進行抑制、乳歯および幼若永久歯の歯冠修復 乳歯および幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順	大須賀直人	
2	5月24日(金) 1時限	小児の歯内療法 小児の歯周疾患 乳歯、幼若永久歯の齲蝕、歯髄炎の診察、検査と診断、治療法 小児の歯周疾患および口腔粘膜疾患の種類、原因、診察、検査、診断、および処置	中村 浩志	
3	7月5日(金) 2時限	小児の歯の外傷 小児の歯の外傷の診察、検査と診断および処置法と予後 小児の外科的処置	大須賀直人	
4	9月6日(金) 1時限	咬合誘導成長発育期の不正咬合予防と静的および動的咬合誘導	正村 正仁	
5	10月18日(金) 2時限	留意すべき小児疾患	中山 聡	
6	11月8日(金) 1時限	小児歯科臨床	中村 浩志	

障がい者歯科学

第5学年

【担当者】

教授：靛島弘之、今井美恵

助教：田村瞬至

【授業概要】

障がい者の歯科治療について概説する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕日本障害者歯科学会編：「スペシャルニーズ デンティストリー（初版）」（医歯薬出版）

【フィードバック方法】

Weekly Test 結果を確認し、次回講義で補足する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：あらかじめキーワードを調べ把握しておくこと。（20分）

復習：講義内容をまとめる。（40分）。

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30～19：00

本館1F 地域連携歯科学講座教授室

連絡先：0263-51-2255

【授業日程】

		障がい者歯科学	第5学年
回数	授業日	項目・講義内容	担当者
1	4月25日(金) 4時限	障がい者歯科総論	靛島 弘之 田村 瞬至
2	5月23日(金) 4時限	行動調整法まとめ	靛島 弘之 田村 瞬至
3	6月27日(金) 4時限	高齢者歯科総論	今井 美恵 田村 瞬至
4	8月29日(金) 4時限	リスクマネジメント・クライシスマネジメント 緊急時の対応	靛島 弘之 田村 瞬至

摂食嚥下療法学

第5学年

【担当者】

教授：龍島弘之

助教：田村瞬至

【授業概要】

臨床実習で経験する摂食嚥下リハビリテーションについて概説する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕向井美恵・山田好秋：「歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学（第1版）」（医歯薬出版）

【フィードバック方法】

Test 結果を確認し、次回講義で補足する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：あらかじめキーワードを調べ把握しておくこと。（20分）

復習：講義内容をまとめる。（40分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30～19：00

本館1F 地域連携歯科学講座教授室

連絡先：0263-51-2255

【授業日程】

回数		授業日	項目・講義内容	担当者
1	5月2日(金) 1時限	摂食嚥下リハビリテーションの流れと概要	龍島 弘之 田村 瞬至	
2	7月4日(金) 1時限	摂食嚥下障害を引き起こす疾患	龍島 弘之 田村 瞬至	
3	11月21日(金) 4時限	摂食嚥下リハビリテーションの基本的対応	龍島 弘之 田村 瞬至	

歯科麻酔学

第5学年

【担当者】

教授：澁谷 徹

准教授：谷山貴一

【授業概要】

歯科治療時の全身管理および精神鎮静法について修得する。

歯科治療時の全身偶発症と救急処置について修得する。

口腔顎顔面領域の疼痛治療について修得する。

【教科書・参考書】

【教科書】丹羽 均・入船正浩・小長谷光・澁谷 徹編：「第6版 臨床歯科麻酔学」（永末書店）

日本有病者歯科医学会編：「第3版 有病者歯科学」（永末書店）

【参考書】嶋田昌彦・梶山加綱・深山治久・丹羽 均編：「わかる！できる！歯科麻酔実践ガイド」（医歯薬出版）

【フィードバック方法】

Weekly Test の正答率が低い問題につき解説を行う。

【注意事項】

講義内容の不明な点は、積極的に質問して解決すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスの講義内容につき、教科書および参考書を用いて予習を行うこと。（30分）

復 習：講義資料や講義ノートを用いて復習すること。（30分）

【オフィスアワー】

月曜日、火曜日 16：30～17：30

本館5階西棟 歯科麻酔学講座医局

他の曜日、時間も予約をすれば対応可能

【授業日程】

		歯科麻酔学		第5学年
回数	授業日	項目・講義内容	担当者	
1	5月2日(金) 2時限	救急処置 1. 一次救命処置 2. 二次救命処置	谷山 貴一	
2	5月23日(金) 2時限	全身状態評価法 1. 診察 2. バイタルサイン 3. 手術危険度評価 全身管理上問題となる疾患 1. 循環器系疾患 2. 呼吸器系疾患 3. その他の疾患	谷山 貴一	
3	7月4日(金) 3時限	歯科治療時の全身的偶発症 1. 血管迷走神経反射 2. 過換気症候群 3. アナフィラキシーショック 4. 異物の誤飲・誤嚥	澁谷 徹	
4	8月29日(金) 2時限	歯科治療時の全身的偶発症 5. 内科的基礎疾患の増悪 ①異常血圧上昇 ②不整脈 ③心筋虚血 ④喘息発作 ⑤その他の偶発症	澁谷 徹	
5	10月17日(金) 1時限	疼痛治療 1. 三叉神経痛 2. 非菌原性歯痛 3. 星状神経節ブロック 4. 癌性疼痛治療法	澁谷 徹	
6	11月21日(金) 2時限	歯科治療時の全身管理 1. モニタリング 2. 精神鎮静法	澁谷 徹	

医療面接学

第5学年

【担当者】

特任教授：森 啓

【授業概要】

医療倫理

プロフェッショナリズム

医療面接

1. 医療面接の意義と目的
2. 病歴聴取と臨床推論
3. 症状に基づいた医療面接
4. 行動変容に必要な媒体とスキル

コミュニケーションの基本

1. 非言語コミュニケーション

診療の基本

1. 電子カルテの仕組と電子カルテ入力の注意
2. セカンドオピニオン
3. チーム医療
4. 診療器具と診療チェア使用の基本
5. 総合診療計画の立案

【教科書・参考書】

- 【参考書】 伊藤孝訓：「第3版 歯科医療面接 アートとサイエンス」(シエン社)
伊藤孝訓・寺中敏夫：「歯科医療面接の実際」(クインテッセンス出版)
斉藤清二：「はじめての医療面接」(医学書院)

【フィードバック方法】

臨床実習において個別に指導する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバス内容を確認し、講義内容をしっかり把握すること。(30分)

復 習：講義の内容について、教科書・参考書を利用し、理解する。(30分)

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30以降

本館2階北棟 病院共同教員室

【授業日程】

医療面接学			
			第5学年
回数	授業日	項目・講義内容	担当者
1	5月2日(金) 3時限	臨床実習における医療面接とプロフェッショナリズムを説明できる。 口腔内診査の方法と治療計画の基本を説明できる。	森 啓
2	5月23日(金) 3時限	医療面接における患者に必要なコミュニケーションスキルを説明できる。 患者の心理状態を把握できる。	森 啓
3	7月4日(金) 2時限	医療面接における臨床推論を説明できる。 患者のインフォームド・コンセントと行動変容の技法を説明できる。 医療面接の実際の技法について説明できる。	森 啓
4	9月5日(金) 1時限	医療面接において収集した内容を診療録に記載できる。 問題志向型診療システムを説明できる。	森 啓

臨床実習 (D5500)

社会的使命の正しい理解に裏付けられた確固たる倫理観に基づき、歯学に関連した社会的使命を有効に遂行しうる人材を養成することを目的とした、歯学部教育の最終段階が病院での臨床実習である。

この実習にあたっては歯科医学生としての立場をよく理解し、医療人として患者に奉仕する姿勢を忘れず、常に自己を律し、患者の信頼に十分応えることが出来るよう、実習指導者の指示に従わなくてはならない。

臨床実習の内容は、精巧なマネキンを使つてのシミュレーション実習、学生相互による診療行為、医局員による診療の見学と介助、さらには指導者の直接の監督下での診療行為の実施である。

【臨床実習心得】

臨床実習は、歯科医師になるために医療人としての心得えと診療に必要な技術に実際に修得するもので、歯科大学における教育の総括である。既修の教育ならびに専門課程（基礎科目、臨床科目）にわたる日頃の勉学の成果を十分に生かし、教員の適切な指導のもと、本大学及び大学病院の諸規定と、この実習心得を基として積極的な姿勢をもって望まなくてはならない。また、対象となる患者は肉体的苦痛と精神的負担とを負っているの、常に親切を旨とし、誠意ある言動で接しなければならない。

【登院に際しての一般的心得】

A. 服装・身だしなみ等……………臨床実習期間中は、下記の事項を厳守すること。

不適切は服装・身だしなみの者は、臨床実習を行うことはできず、欠席扱いとする。

1. 本学指定の診療衣、名札を着用する。
2. 診療中は原則としてマスクとグローブを着用する。
3. 病院内では指定の上履きを使用する。(革製、白色)
4. 整髪、手指の爪を切る等、身体は勿論服装も常に清潔に保つ。
5. 茶髪・ひげ・装身具（ピアス等）・香水・オーデコロンのは禁ずる。
6. 診療衣のまま学外へ出ること禁ずる。
7. 診療室をはじめ病院内各所の実習場所は絶えず清潔を保つよう努める。
8. 指定の喫煙所を除き、病院内はすべて禁煙である。
9. 病院内では静粛を旨とし、みだりに談笑等しない。
10. 病院内での携帯電話の使用を禁ずる。

B. 患者に対する態度と取扱い

1. 患者に対しては懇切丁寧を旨とし、不親切、不勉強または怠慢により迷惑をかけないよう注意する。
2. 診療上知り得た個人の秘密に関する事項は他人に絶対漏らさず、その病名、症状に関しても理由なく公開してはならない。
3. 診療記録（カルテ、プロトコール、画像等）の閲覧は許可を得て行う。
4. 各科により多少異なるところがあるので、詳細は各科実習指導者の指示に従うこと。

C. 履修期、実習時間、出欠席

1. 全期を、第1、第2クールの期間を分けて実施する。
2. 出欠席、遅刻、早退については各科で取り扱っているの、各科実習指導者の指示に従うこと。

D. 機械、器具及び材料の扱い

1. 病院備え付けの機器類は慎重に取り扱い、破損、紛失することのないようにする。
2. 所要の個人器機を有しない者は臨床実習を行うことができない。
3. 各自が使用する器機の欠損、故障は直ちに補充、修理し、常に整備しておくこと。
4. 学生相互間における器機及び材料の交換または賃借を禁ずる。
5. 備え付けの器機は使用場所より持ち出さず、各自の器機は所定の場所に保管する。

【臨床実習実施上の規定要項】

すべての臨床実習は、各科実習指導者の指示監督のもと、本大学病院内で、病院の諸規定に準じて行われる。

臨床実習の実施に関する具体的総括は病院長の責任下におく。

A. 実習時間及び日程

1. すべての実習は、規定された時間内に行うこと。特別の事由がある場合は、指導教員の許可を受け、その立ち会

いのもとに時間外にこれを行い得る。

2. 臨床実習は各々定められた日程表により行われる。

B. その他

如何なる理由があっても、病院外で診断、診療に類する一切の行為をしてはならない。

(たとえ歯科医師の監督のもとでも退学などの嚴重な処分となる。)

C. その他実習期間中の留意点

以上連記した臨床実習心得に著しく違反し、臨床実習学生の本分に反した行為があると認められた者は訓告、実習停止、停学または退学処分に附せられることがある。

保存修復学

第5学年

【担当者】

教授：亀山敦史
客員教授：大槻昌幸
講師：小町谷美帆、小松佐保
助教：甲田訓子、中村圭吾、宮下 彩
助手：高坂怜子
非常勤講師：石井敏裕
特任教授：山本昭夫

【一般目標（GIO）】

個々の患者に適した齲蝕治療および非齲蝕性硬組織疾患の歯科医療を提供するために、より高度な保存修復学に関する知識、技能および態度を修得する。

【行動目標（SBOs）】

【審美歯科ベーシックコースⅠ・Ⅱ】

1. 変色歯の対応について、その方法と各々の侵襲度を説明できる。(想起・解釈)
2. 各々の変色歯の対応法について、適応症を選択できる。(問題解決)
3. 歯のホワイトニングのメカニズムを説明できる。(想起)
4. 歯のホワイトニングに必要な準備を実践できる。(技能)
5. 歯のホワイトニングに用いるカスタムトレーを製作できる。(技能)
6. 歯のホワイトニングを実践できる。(技能)
7. 歯のホワイトニングについて、患者に説明すべき事項を列挙できる。(想起)
8. 歯の再石灰化療法を列挙できる。(想起)
9. 歯の再石灰化療法に使用する材料とその使用方法を説明できる。(想起)
10. 歯の再石灰化療法を実践できる。(想起)
11. ベニア修復を分類できる。(想起)
12. コンポジットレジンダイレクトベニア修復に用いる器材を選択できる。(問題解決)
13. コンポジットレジンダイレクトベニア修復をマネキン上で実践できる。(技能)
14. 患者の苦痛や痛みに配慮できる。(態度)
15. 医療安全に配慮できる。(態度)
16. 清潔に配慮できる。(態度)

【Er：YAGレーザー使用体験実習】

1. 使用管理区域でEr：YAGレーザーを使用できる。(技能)
2. Er：YAGレーザーから自身、患者、スタッフの目を保護できる。(態度)
3. Er：YAGレーザーを操作できる。(技能)
4. Er：YAGレーザーを用いた齲蝕除去をマネキン上で実践できる。(技能)
5. 医療安全に配慮できる。(態度)
6. 清潔に配慮できる。(態度)

【臨床実地問題作成演習】

1. 臨床実地問題の構成を説明できる。(想起)
2. 視覚素材に提示された情報を分析できる。(解釈)
3. 提示された情報を基に問題を作成できる。(問題解決)
4. 与えられた課題をグループ討論できる。(技能)
5. 討論に積極参加できる。(態度)
6. 出題のねらいを推測できる。(解釈)

7. 出題のねらいをプレゼンテーションできる。(技能)

【保存修復学早朝ミニレクチャー】

1. 歯科用バキュームの使用目的とその方法を説明できる。(想起)
2. 治療部位に応じたバキュームの挿入部位を説明できる。(想起)
3. バキュームの挿入禁忌部位を列挙できる。(想起)
4. 齲蝕病巣の構造を図示し、それぞれの層の特徴を説明できる。(想起)
5. 根面齲蝕の特徴とその臨床的対応を説明できる。(想起)
6. 各種歯科用レーザーの特徴を説明できる。(想起)
7. レーザーの安全な使用法を説明できる。(想起)
8. 各種レーザーの適応症について説明できる。(想起)
9. Tooth wear の臨床的特徴とその対応を説明できる。(想起)
10. 修復前準備を列挙し、その方法を説明できる。(想起)
11. 各種修復前準備に用いる使用器具を選択できる。(解釈)
12. 象牙質・歯髄複合体の保護法を分類し、各々の適応と臨床的対応を具体的に説明できる。(想起)
13. グラスアイオノマーセメントの使用用途を列挙できる。(想起)
14. 用途に応じたグラスアイオノマーセメントを選択できる。(解釈)
15. 修復物に応じた被着面処理法とそのメカニズムを説明できる。(想起)

【臨床実習】

1. Standard precautions を実施できる。(技能)
2. 清潔に配慮できる。(態度)
3. 手指、器具および技工物などの消毒・滅菌を実施できる。(技能)
4. 医療廃棄物を適切に処理できる。(技能)
5. 感染予防対策マニュアルに沿って対応できる。(態度)
6. 安全性に配慮できる。(態度)
7. 危機管理マニュアルに沿って対応できる。(態度)
8. バキュームを操作できる。(技能)
9. 医療従事者として好ましい態度で患者とその家族に対応できる。(態度)
10. 患者・家族の身体的および精神的苦痛と社会的背景に配慮できる。(態度)
11. 患者情報を収集できる。(技能)
12. プライバシーに配慮できる。(態度)
13. 得られた患者情報を分析できる。(解釈)
14. 歯の硬組織疾患の診断に必要な器材を選択できる。(問題解決)
15. 歯の硬組織疾患の診断に必要な器材を使用できる。(技能)
16. 各々の症例について、問題点の重要性と緊急性を判定できる。(解釈)
17. 診断名を推定できる。(解釈)
18. 診断理由を説明できる。(解釈)
19. 齲蝕性および非齲蝕性硬組織疾患の治療法を、主観的・客観的所見に応じて選択できる。(問題解決)
20. SOAP 形式で診療録を作成できる。(技能)
21. 齲蝕、その他歯の硬組織疾患の簡単な処置を実施できる。(技能)
22. 象牙質知覚過敏症に対する処置を実施できる。(技能)
23. コンポジットレジン修復を実施できる。(技能)
24. 修復後のメンテナンスを実施できる。(技能)
25. 指導医の指示に従うことができる。(態度)
26. 実施した処置を自己評価できる。(解釈)

【教科書】 千田 彰・宮崎真至・林 美加子・向井義晴・斎藤隆史編：「保存修復学（第7版）」（医歯薬出版）

田上順次・奈良陽一郎・山本一世・斎藤隆史監修：「第六版 保存修復学21」（永末書店）

【参考書】 千田 彰・寺下正道・田上順次・奈良陽一郎・宮崎真至・片山直編：「保存修復学クリニカルガイド（第2版）」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

【受動的的方法】

1. 早朝ミニレクチャー
2. 実習前講義、実習後講義（審美歯科ベーシックコースⅠ、Ⅱ）

・媒体（受動的的方法）：

1. PC、パワーポイント、プロジェクター
2. プリント類、教科書
3. 器材パンフレット、添付文書類

【能動的的方法】

1. 模型実習（審美歯科ベーシックコースⅡ：ダイレクトベニア実習、Er：YAG レーザー使用体験実習）
2. 相互実習（審美歯科ベーシックコースⅠ：ホワイトニング疑似体験実習）
3. 自験
4. 協同学習（臨床実地問題作成演習）

・媒体（能動的的方法）

審美歯科ベーシックコースⅠ：

1. 硬石膏、アルジネート印象材（教員側で準備）
2. 印象用トレー（学生が各自所有のもの）
3. 金冠ばさみ（学生が各自所有のもの）

審美歯科ベーシックコースⅡ：

1. 実習用顎模型（4年保存修復学実習で用いたもの）
2. 矮小歯模型歯（新規購入器材）
3. コンポジットレジン充填器（4年保存修復学実習で用いたもの）
4. その他コンポジットレジンなど実習器材一式（教員側で準備）

Er：YAG レーザー使用体験実習：

1. 実習用顎模型（4年保存修復学実習で用いたもの）
2. 齲蝕模型歯（新規購入器材）
3. 保護メガネ（教員側で準備）

協同学習（臨床実地問題作成演習）

1. PC、パワーポイント（学生が用意）
2. 視覚素材（教員側で準備）
3. 歯科医師国家試験出題基準（学生が各自ダウンロード）

【フィードバック方法】

疑問点はそのままにせず、できる限りその日のうちに解決すること。
調べても分からない事項は積極的に教員に質問すること。

【評価方法（Evaluation）】

1. 口頭試問（保存修復学全般）
2. 症例に対するレポート（自験ケース／見学・診療補助ケース）
3. 自己評価シート（審美歯科ベーシックコース・臨床実地問題作成演習）
4. スクリーニングテスト（保存修復学全般）：客観試験
5. 自験ケース評価シート

【注意事項】

1. 実習時間中は自発的かつ積極的に実習に臨むこと。
2. 何らかの理由で実習時間中に保存科（修復）診療室から離れる場合には、事前に担当インストラクターに許可を取ること。
3. 欠席する場合は必ず電話連絡すること。
4. 診療室内では医療安全や感染予防対策などに配慮し、指導者の指示に従って行動すること。
5. 医療人としてふさわしい、清潔感のある身だしなみに心がけること。

6. 病院内で知りえた個人情報を漏洩してはならない。また、診療室外での言動も含め、注意を払うこと。
7. 実習時には実習帳およびケースカードを持参し、適宜検印を受けることができるようにしておくこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

30分

予 習：事前に実習内容および予定を臨床実習手帳を元に確認し、しっかり準備する。(10分)

復 習：臨床実習手帳に記入した実習内容を復習する。(20分)

【オフィスアワー】

随時 17：30以後

本館3階東棟 歯科保存学講座 亀山教授室および修復研究室

歯科補綴学（有床義歯補綴学）

第5学年

【担当者】

教授：樋口大輔
講師：笠原隼男、吉田裕哉
助教：平井博一郎
補助者：加納幸成、植野裕司、堀江貴裕、船岡俊介
特任教授：鷹股哲也

【一般目標（GIO）】

全部床義歯補綴学、部分床義歯補綴学に関する系統講義や模型実習を履修した学生が、実際に将来行われるべき補綴歯科診療に関する治療計画立案や基本的な有床義歯による補綴歯科診療を実施するために、必要な知識、態度および技能を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 補綴歯科診療の流れを理解する。
2. 補綴歯科診療に必要な一般的な診察を行う。
3. 補綴歯科診療に特徴的な検査（フェイスボウトランスファー、ゴシックアーチ描記、チェックバイト法等）を理解する。
4. 各臨床操作の目的を理解する。
5. 各臨床操作の方法を理解する。
6. 各臨床操作を相互実習として実施する。（概形印象採得、精密印象採得、顎間関係記録）
7. 各技工操作の目的を理解する。
8. 各技工操作の内容を理解する。
9. 技工操作を相互実習として実施する。（研究用模型製作、個人トレー製作、作業用模型製作、咬合器装着、顎路調整）
10. 欠損歯列の病態を理解する。
11. 欠損歯列に対する診断を行う。
12. 診断に基づき合理的な治療計画立案をする。
13. 顎口腔機能の回復に必要な他科との連携を理解する。
14. 高齢者の基礎疾患や社会的立場を把握し、適切に配慮する。
15. 可撤性有床義歯装着後に生じる問題の原因と対処法を理解する。

【教科書・参考書】

- 〔教科書〕 藍 稔：「補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識」（学建書院）
市川哲雄ほか編「無歯顎補綴治療学（第4版）」（医歯薬出版）
細井紀雄ほか編：「コンプリートデンチャーテクニク（第6版）」（医歯薬出版）
藍 稔ほか編：「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（第4版）」（学建書院）
大久保力廣ほか編：「パーシャルデンチャーテクニク（第6版）」（医歯薬出版）
赤川安正ほか編：「よく分かる口腔インプラント学 第4版」（医歯薬出版）
岩田隆紀ほか編：「歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドブック」（クインテッセンス出版）
- 〔参考書〕 矢谷博文ほか編：「クラウンブリッジ補綴学（第6版）」（医歯薬出版）
三浦宏之ほか編：「クラウンブリッジテクニク（第2版）」（医歯薬出版）
山縣健佑・黒岩昭弘：「図説 無歯顎補綴学」（学建書院）
黒岩昭弘：「全部床義歯学サイドリーダー（第5版）」（学建書院）
山下秀一郎ほか編：「有床義歯補綴学」（永末書店）
赤川安正ほか：「歯学生のパーシャルデンチャー（第7版）」（医歯薬出版）
石上 元ほか編：「冠橋義歯補綴学テキスト（第5版）」（永末書店）
古谷野潔ほか編：「新編 顎関節症（改訂版）」（永末書店）

森戸光彦ほか編：「老年歯科医学（第2版）」（医歯薬出版）

佐藤裕二ほか編：「よくわかる高齢者歯科学」（永末書店）

【教育（学習）方略（LS）】

1. 相互実習（製作物）
2. 各自の理解度、経験に応じてチーム診療の一員としての役割を担う

【フィードバック方法】

臨床実習手帳に基づき個別指導を行う。

【評価方法（Evaluation）】

以下により総合的に評価する。

1. 知識：実力試験、レポート、口頭試問
2. 技能：相互実習、技能試験
3. 態度：出席状態および診療見学を含む実習への

欠席および臨床実習時間中の外来からの離席は特別な理由がない限り認めない。欠席回数および臨床実習時間中の外来からの離席は大きく成績に反映させる。

アンプロフェッショナルな行動・臨床実習中の風紀を乱す行為は態度の割合を超えて大幅な減点対象となる。

【注意事項】

欠席および臨床実習時間中の外来からの離席は特別な理由がない限り認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：事前に実習内容および予定を臨床実習手帳を元に確認し、しっかり準備する。（20分）

復習：臨床実習手帳に記入した実習内容を復習する。（40分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30まで

本館4階東棟 歯科補綴学講座研究室

事前連絡、予約が望ましい。

歯科補綴学（クラウンブリッジ補綴学）

第5学年

【担当者】

教授：樋口大輔
講師：笠原隼男、吉田裕哉
助教：平井博一郎
助手：加納幸成、植野裕司、堀江貴裕、船岡俊介
特任教授：鷹股哲也

【一般目標（GIO）】

クラウンブリッジ補綴学、口腔インプラント学に関する系統講義や模型実習を履修した学生が、実際に将来行われるべき補綴歯科診療に関する治療計画立案や基本的なクラウンブリッジによる補綴歯科診療を実施するために、必要な知識、態度および技能を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 補綴歯科診療の流れを理解する。
2. 補綴歯科診療に必要な一般的な診察を行う。
3. 補綴歯科診療に特徴的な検査（フェイスボウトランスファー、ゴシックアーチ描記、チェックバイト法等）を理解する。
4. 各臨床操作の目的を理解する。
5. 各臨床操作の方法を理解する。
6. 各臨床操作を相互実習として実施する。（概形印象採得、精密印象採得、顎間関係記録）
7. 各技工操作の目的を理解する。
8. 各技工操作の内容を理解する。
9. 技工操作を相互実習として実施する。（研究用模型製作、個人トレー製作、作業用模型製作、咬合器装着、顎路調節）
10. 歯冠欠損・少数歯欠損歯列の病態を理解する。
11. 歯冠欠損・少数歯欠損歯列に対する診断を行う。
12. 診断に基づき合理的な治療計画立案をする。
13. 顎口腔機能の回復に必要な他科との連携を理解する。
14. 高齢者の基礎疾患や社会的立場を把握し、適切に配慮する。
15. クラウンブリッジ装着後に生じる問題の原因と対処法を理解する。

【教科書・参考書】

- 〔教科書〕 藍 稔：「補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識」（学建書院）
矢谷博文ほか編：「クラウンブリッジ補綴学（第6版）」（医歯薬出版）
三浦宏之ほか編：「クラウンブリッジテクニック（第2版）」（医歯薬出版）
赤川安正ほか編：「よく分かる口腔インプラント学 第4版」（医歯薬出版）
岩田隆紀ほか編：「歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドブック」（クインテッセンス出版）
- 〔参考書〕 市川哲雄ほか編「無歯顎補綴治療学（第4版）」（医歯薬出版）
細井紀雄ほか編：「コンプリートデンチャーテクニック（第6版）」（医歯薬出版）
藍 稔ほか編：「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（第4版）」（学建書院）
大久保力廣ほか編：「パーシャルデンチャーテクニック（第6版）」（医歯薬出版）
山縣健佑・黒岩昭弘：「図説 無歯顎補綴学」（学建書院）
黒岩昭弘：「全部床義歯学サイドリーダー（第5版）」（学建書院）
山下秀一郎ほか編：「有床義歯補綴学」（永末書店）
赤川安正ほか：「歯学生のパーシャルデンチャー（第7版）」（医歯薬出版）
石上 元ほか編：「冠橋義歯補綴学テキスト（第5版）」（永末書店）
古谷野潔ほか編：「新編 顎関節症（改訂版）」（永末書店）

森戸光彦ほか編：「老年歯科医学（第2版）」（医歯薬出版）

佐藤裕二ほか編：「よくわかる高齢者歯科学」（永末書店）

【教育（学習）方略（LS）】

1. マネキンを使用し、支台歯形成を行う。
2. 各自の理解度、経験に応じてチーム診療の一員としての役割を担う。

【フィードバック方法】

臨床実習手帳に基づき個別指導を行う。

【評価方法（Evaluation）】

以下により総合的に評価する。

1. 知識：実力試験、レポート、口頭試問
2. 技能：相互実習、技能試験
3. 態度：出席状態および診療見学を含む実習への取り組み

欠席および臨床実習時間中の外来からの離席は特別な理由がない限り認めない。欠席回数および臨床実習時間中の外来からの離席は大きく成績に反映させる。

アンプロフェッショナルな行動・臨床実習中の風紀を乱す行為は態度の割合を超えて大幅な減点対象となる。

【注意事項】

欠席および臨床実習時間中の外来からの離席は特別な理由がない限り認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：事前に実習内容および予定を臨床実習手帳を元に確認し、しっかり準備する。（20分）

復習：臨床実習手帳に記入した実習内容を復習する。（40分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30まで

本館4階東棟 歯科補綴学講座研究室

いずれも事前連絡、予約が望ましい。

医療面接学

第5学年

【担当者】

特任教授：内田啓一、森 啓
講 師：大木絵美、高谷達夫
助 教：喜多村洋幸、岩崎由紀子、伊能利之
助 手：堀内竜太郎

【一般目標（GIO）】

適切な診療を行うために、初診時の円滑な医療面接と総合診療計画立案に必要な知識・態度・技能を習得できる。

【行動目標（SBOs）】

1. 初診患者に対して安全かつ円滑な医療面接環境を整備できる。
2. 患者中心の医療のために十分に精神的・倫理的・社会的背景に配慮できる。
3. 初診時医療面接時に必要なインフォームドコンセントを行うことができる。
4. 主訴、病歴の聴取ができる。
5. 適切な口腔内診査項目を説明できる。
6. 適切な診断法を説明し、立案できる。
7. 記載すべき内容を的確に理解し、診療録を作成できる。
8. 総合診療計画を説明でき、立案を行える。
9. 口臭の原因を説明できる。
10. 口臭の測定ができる。

【教科書・参考書】

【参考書】伊藤孝訓・寺中敏夫編：「患者ニーズにマッチした歯科医療面接の実際」（クインテッセンス出版）
斎藤清二：「はじめての医療面接」（医学書院）
伊藤孝訓：「第3版 歯科医療面接 アートとサイエンス」（シエン社）

【教育（学習）方略（LS）】

一口腔単位の歯科治療を行うために患者情報の収集・分析、診断、治療計画、記録についての知識・技能及び態度を修得し、患者との良好な関係を構築できる。

診断、歯科治療に必要な検査を実施できる知識、技能、態度が修得できる。

1. ロールプレイによる医療面接
2. シミュレーションの症例を用いて必要な検査・診察・治療方針の立案できる。
3. 初診患者に対する医療面接ができる。（自験ケース）
4. 医療面接、検査、診察、結果より診療録記載、治療方針立案できる。
5. 口臭の測定ができる。（相互実習）

【フィードバック方法】

1. 臨床実習手帳に基づき個別指導を行う。
2. プレ・テスト、ポスト・テストの結果により個別を行う。

【評価方法（Evaluation）】

1. 臨床実習手帳を用い、行動目標に準じる項目について点数（score）を付与する。
2. プレ・テスト、ポスト・テストを実施し知識の修得状況を確認する。
2. 医療面接評価シートによる評価
3. 診療録・総合診療計画書の評価
4. 個人評価点には概略評定（出欠席を含む）を勘案する。

【注意事項】

臨床に参加することを理解し、医療人として相応しい態度で積極的に臨床実習に臨むこと。
身だしなみに留意し、時間を厳守すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：事前に実習内容および予定を臨床実習手帳を元に確認し、しっかり準備する。(20分)

復 習：臨床実習手帳に記入した実習内容、質問事項を復習する。(40分)

【オフィスアワー】

月曜～金曜日 18：00～

本館2階北棟病院共同教員室

口腔外科学

第5学年

【担当者】

教授：栗原祐史、芳澤享子
講師：佐藤 工
助教：渡邊遊里
特任教授：植田章夫

【一般目標（GIO）】

講義で学んだ知識を基盤として、実際の口腔外科診療に必要な知識と手技の基本を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 医療面接が行える。
2. 患者の現症の把握ができる。
3. 診断手順を理解する。
4. 臨床検査の評価ができる。
5. 診断内容を理解する。
6. 治療方法を理解する。
7. 治療薬の薬理作用が説明できる。
8. 器械・器具の使用法を習得する。
9. 外科手技の基本を習得する。
10. 治療の合併症を理解する。
11. 手術法を理解する。
12. 術後の経過を理解する。

【教科書・参考書】

【教科書】白砂兼光・古郷幹彦監：「口腔外科学（第4版）」（医歯薬出版）
榎本昭二・道 健一・天笠光雄他：「最新口腔外科学（第5版）」（医歯薬出版）
山根源之他編：「口腔内科学」（永末書店）
【参考書】道 健一監修：「改訂版 口腔顎顔面疾患カラーアトラス」（永末書店）
栗田賢一・覚道健治：「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療（第5版）」（永末書店）

【教育（学習）方略（LS）】

外来診療では抜歯、小手術を中心とした観血的治療を、手術室や病棟では手術手技や入院患者の管理を見学、介助、実践し、それらに関する討議をすることによって知識の確認がなされ、目標の到達をはかる。外来・病棟を問わず、積極的に多くの症例に接することによって、疾患とその治療法を系統立てて理解するとともに、基本的な外科器具の使用法および手技を習得する。

【フィードバック方法】

ポートフォリオやレポート提出時に解説を行う。不明な点、疑問点については担当教員に確認すること。

【評価方法（Evaluation）】

1. 出席日数および臨床実習手帳による評価が基準をみたくこと。
 2. 実地試験が期日内に終了していること。
- 以上の2項目を達成した場合に合格とする。

出席はポートフォリオの検印にて判定する。ポートフォリオの検印は、当日担当となったインストラクターが午前、午後それぞれにチェックを行う。出席印と記載の完了印両方が押されていることが出席判定の条件である。（インストラクターが会議等で終了時不在の場合には、他のインストラクターから評価を受けること）。原則として実習当日以外の評価は認めない。

【注意事項】

1. 患者と接し医療に携わる自覚を持って、身だしなみや行動に留意すること。
2. 将来医療に携わるに十分な能力を養うために努力し、日頃から学習すること。
3. 診療室をやむを得ない事情で退出する時は理由を説明し、インストラクターの許可を取ること。無断退出は当日の単位を認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

45分

予 習：事前に当日の診療内容について、教科書・参考書で予習を行うこと（15分）

復 習：当日の診療内容を教科書・参考書を中心に整理すること（30分）

【オフィスアワー】

火曜日・木曜日 17：00～18：00

本館5階東棟 口腔顎顔面外科学講座教室および医局

歯科矯正学

第5学年

【担当者】

教授：川原良美

講師：村岡理奈

助教：中根 隆、榎本達也、丸山歩美、倉科勇太、羽鳥 遼、宮脇理功

助手：平岡敬太

非常勤講師：宮崎顕道、小幡明彦

【一般目標 (GIO)】

1. 患者と良好な関係を築き、プロフェッショナリズムを理解するために、医療人としての基本的な知識、態度および技能を修得する。
2. 矯正歯科治療計画を立案するために、検査・診断・治療における基本的な知識・技能を修得する。

【行動目標 (SBOs)】

1. 生涯学習を意識し、臨床技能研鑽を継続する。(態)
2. 歯科医師の社会的役割を意識し、熱意をもって毎日の臨床実習に臨む。(態)
3. 臨床実習に適した身だしなみを整える。(態)
4. チーム医療を意識し、患者、医療関係者と適切なコミュニケーションを実施する。(態)
5. 実際の外来と同様に、医師と患者間の信頼関係の構築や、治療的意義を得るためのマナーを体得する。(態)
6. 遅刻・やむを得ない場合以外の欠席なく、時間を厳守して実習に取り組むことができる。(態)
7. 治療内容を理解した上で、見学レポートを書く。(知、態)
8. 診断を積極的に見学し、内容を理解したうえで、見学レポートを書く。(知、態)
9. 矯正治療に対する理解を深め、積極的に見学・介助する。(知、技、態)
10. 側面セファロのトレースができる。(知、技)
11. 正面・側面セファロの分析ができる。(知、技)
12. 模型計測・分析ができる。(知、技)
13. 矯正診断結果や治療計画、矯正装置についてわかりやすく説明することができる。(知、技)
14. マルチブラケット装置操作時に必要な器具を準備することができる。(態)
15. マルチブラケット装置操作時に適切な診療介助ができる。(知、技)
16. 各矯正装置の適応症例を述べるができる。(知)
17. 各矯正装置の治療効果を説明できる。(知)
18. 症例の分析・診断結果に対して口頭試問において質疑応答ができる。(知)
19. 矯正診断や治療に導入が望まれる先端技術について説明することができる。(知)
20. 治療を積極的に見学し、患者に対する配慮およびをする医療安全に対する配慮をする。(技)

【教科書・参考書】

【教科書】 飯田順一郎・葛西一貴・後藤滋巳・末石研二・横宏太郎・山城隆編：「歯科矯正学（第6版）」（医歯薬出版）

【参考書】 西井 康、他編：「歯科矯正学エッセンシャルテキスト（第1版）」（末永書店）

歯科矯正学基礎実習マニュアル（4年時配布）

矯正歯科臨床実習マニュアル（5年時配布）

歯科矯正学（講義）配布プリント

【教育（学習）方略 (LS)】

1. グループ討議
症例検討（治療方針の立案、診断）
2. 実習
臨床実習、診療見学、口頭試問
3. 自習

見学レポートの作成、読書

口頭試問に向けた自習、国家試験過去問題集を用いた自習

媒体

1. 平行模型、顔面写真、口腔内写真、エックス線写真
パワーポイント、PC、プロジェクター、教科書
2. プリント類、教科書
3. 学生が各自所有のもの

【フィードバック方法】

実習の不明点がある場合には、積極的にオフィスアワーを活用すること。

【評価方法 (Evaluation)】

実習態度 (30%)、レポート (25%)、技能 (20%)、口頭試問 (25%)

【注意事項】

1. 欠席せずに、自発的かつ積極的に実習に臨む。なお、欠席する場合は必ず電話連絡をすること。
2. 病院内においては、諸規定を守り、すべて指導者の指示に従って行動する。
3. 病院内においては、常に清潔を重んじ、他人に不快な念を与えない。
4. 身だしなみには特に注意を払い、著しく不適切な髪型、化粧などをしてはならない。
5. 病院内においては、常に言動に注意を払い、真摯な態度で実習に臨む。
6. 実習時に実習帳およびケースカードを持参し、適宜検印を受ける。
臨床の現場に参加することに対する明確な自覚を持ち、医療人として身だしなみに十分配慮し、積極的に参加すること。

【準備学習時間 (予習・復習)】

120分

予習：事前に実習内容および予定を臨床実習手帳を元に確認し、しっかり準備する。(60分)

復習：臨床実習手帳に記入した実習内容を復習する。(60分)

【オフィスアワー】

月曜～金曜 17:00～18:00

本館2階東棟 歯科矯正学講座医局

小児歯科学

第5学年

【担当者】

教授：大須賀直人
准教授：正村正仁、中村浩志
講師：中山 聡、黒岩博子
臨床教授：西川康博、紀田晃生

【一般目標（GIO）】

小児歯科臨床実習は、本学小児歯科学カリキュラムにおける最終段階のもので、今までに習得した知識と技術を総合的に集約して、一般歯科医師が小児の初期治療を行う際に必要な診断・検査・治療の知識と技能を患者を通して習得する。

特に、成長過程にある小児の総合的な口腔健康管理と患者への対応を身につける。

【行動目標（SBOs）】

1. 小児患者の来院時から処置完了までの対応と取り扱いを説明できる。
2. 診査、検査および分析結果を検討し、1口腔1単位としての確な診断が説明できる。
3. 診査結果に基づいて治療計画を説明できる。
4. 臨床の場における予防と予防処置について説明できる。
5. 小児歯科で用いるフッ化物の応用について説明できる。
6. 定期健診の重要性について説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕大須賀直人他：「小児の口腔科学（第5版）」（学建書院）
〔参考書〕大須賀直人他：「小児歯科基礎・臨床実習（第3版）」（医歯薬出版）
大須賀直人他：「小児歯科学（第6版）」（医歯薬出版）
大須賀直人他：「乳歯列における外傷歯の診断と治療（第2版）」（クイッテセンス出版）
大須賀直人他：「歯科医師のための小児科学入門」（MDU出版会）
大須賀直人他：「乳幼児の口と歯の健診ガイド（第3版）」（医歯薬出版）
大須賀直人他：「小児歯科学 ベーシックテキスト（第3版）」（永末書店）

【教育（学習）方略（LS）】

実際の臨床現場における小児歯科診療の見学や診療補助、自験を行う事により、これまでに習得した知識と技術を確実し理解を深める。また、各種実習により診療内容を把握する。

【フィードバック方法】

配布資料、教科書、ノートを確認してフィードバックする。

【評価方法（Evaluation）】

臨床見学、アシスタントケース、必修ケース、自験ケースや各種実習項目の履修内容により、知識・技能・態度を総合的に評価する。

【注意事項】

「臨床の場」にいることを自覚して、言動・行動・身だしなみに気をつける。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：事前に実習内容および予定を臨床実習手帳を元に確認し、しっかり準備する。(20分)

復 習：臨床実習手帳に記入した実習内容を復習する。(40分)

【オフィスアワー】

月曜日

17：00～18：00

本館2階東棟 小児歯科学講座医局

E-mail (info_ped@mdu.ac.jp) で予約をすれば、他の時間でも可能。

歯科放射線学

第5学年

【担当者】

教授：田口 明
准教授：杉野紀幸
講師：長内 秀
助教：山田真一郎

【一般目標 (GIO)】

歯科医師に必要な各種画像検査法と正常解剖学、各種撮影法と画像診断について具体的に習得し、さらに放射線の安全な利用について理解する。

【行動目標 (SBOs)】

1. 歯・歯周組織エックス線検査法について、臨床見学及び相互実習により、撮影技術とその画像診断および正常解剖学を習得する。
2. 顎・顔面領域のエックス線検査法について、臨床見学及び実習により、撮影技術とその画像診断および正常解剖学を習得する。
3. 特殊画像検査法について、見学及び実習により、撮像原理とその画像診断を習得する。
4. 放射線の影響と健康について、示説などにより理解を深め、その重要性を認識する。
5. 症例ケースについて、発表検討会により各症例についての画像診断の手順と重要性を習得する。

【教科書・参考書】

【参考書】 勝又明敏・浅海淳一・田口明・森本泰宏編集主幹：「解説と例題でわかる歯科放射線テキスト」(永末書店)
中山英二・森本泰宏編：「口腔・歯・顎・顔面 ポケット画像解剖」(医学情報社)

【教育 (学習) 方略 (LS)】

患者撮影および画像検査実習と講義を行い、その内容のうち重要な事項について提示して説明する。

【フィードバック方法】

臨床実習内試験および教授試験項目について質問等がある場合は実習終了後一週間以内にメールを送ること。それに対して学生イントラ上で解説する。

【評価方法 (Evaluation)】

相互実習、患者撮影実施、臨床見学、講義の実施項目をすべて終了し、実習記録、症例検討会による評価とともに最終的に教授試験において理解度を評価する。

【注意事項】

4年次の講義資料と指定教科書を持参すること。

【準備学習時間 (予習・復習)】

90分

予 習：予定されている臨床実習の内容を十分に教科書および参考書で予習しておくこと。(45分)

復 習：教授試験でできなかったところをフィードバックするので、十分に復習すること。(45分)

【オフィスアワー】

水曜日又は木曜日の18時から教授室で質問を受けるので、予め予約して時間を調整すること。

連携型口腔診療（障がい者歯科学・高齢者歯科学・摂食機能療法）

第5学年

【担当者】

教授：靛島弘之

助教：田村瞬至

助手：山上祐介、杉田寛和、岸 英之、宮澤美咲、黄 晨宇、林 昶廷、川尻紋子、廖秉承

臨床教授：靛島桂子、望月慎恭

非常勤講師：富士岳志、小川浩樹、河瀬聡一朗、松尾寿美恵

【一般目標（GIO）】

スペシャルニーズのある患者の歯科診療に参加することにより基本的知識、態度および臨床技能を修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. スペシャルニーズのある患者との適切なコミュニケーション技能と倫理的態度を修得する。
2. スペシャルニーズのある患者の医療情報から自己指向型学習を実施する。
3. 指導のもとにスペシャルニーズのある患者の口腔保健管理上の問題点を整理し、患者あるいは保護者・介助者に説明する。
4. スペシャルニーズのある患者に適した口腔保健指導を実施する。
5. スペシャルニーズのある患者の口腔診査を実施する。
6. スペシャルニーズのある患者の歯科治療に必要な器具、器材を準備し、歯科医療行為の介助を実施する。

【教科書・参考書】

【教科書】日本障害者歯科学会編：「スペシャルニーズ・デンティストリー」（医歯薬出版）

佐藤裕二編：「よくわかる高齢者歯科学」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

1. 個々に実際の患者を担当することにより、障害や疾患の概要はもちろん心理状態をも感じ、コミュニケーション、倫理的態度を学ぶ。
2. 医療福祉との連携を学ぶために訪問診療、医療連携を体験する。
3. チュートリアルを実施する。
4. 要介護者の移乗、障がい者の口腔内診察、障がい者の保健指導を体験する。

【フィードバック方法】

試問にて理解の確認を行い、不足内容を補足説明する。

【評価方法（Evaluation）】

1. 主要な障害と疾患について所定の症例数を見学、診療補助後にレポートを提出し、試問を受ける。
2. 基本的な患者対応法、各種の行動変容法、全身麻酔下集中歯科治療法、低濃度笑気吸入鎮静法、静脈内鎮静法などについても、相互 実習あるいは見学の終了後にレポートを提出し、試問を受ける。
3. 要介護者の移乗、障がい者の口腔内診察、障がい者の保健指導の実地試験を行う。
4. 最終試問により評価する。

【注意事項】

臨床実習書に基づき行動すること。

患者に不快な思いをさせない言動をとること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：来院予定の患者の原疾患について学習する（30分）

復習：見学症例について全身状態を考慮した事項を、その根拠とともにまとめる（30分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30～19：00

本館1階東棟 地域連携菌科学講座 教授室

連絡先：0263-51-2255

歯科麻酔学・歯科麻酔科

第5学年

【担当者】

教授：澁谷 徹
准教授：谷山貴一
助教：西田洋平、上田敬介
助手：友松 薫
非常勤講師：遠藤理香、長江麻帆

【一般目標 (GIO)】

歯科治療における全身管理、局所麻酔法、全身麻酔法および精神鎮静法に関する知識、技能を修得する。
救急蘇生法の基本を修得する。
疼痛治療と神経麻痺に関する知識を修得する。

【行動目標 (SBOs)】

1. 全身状態を評価し、最適な麻酔管理法が選択できる。
2. 浸潤麻酔、伝達麻酔を実施できる。
3. 全身麻酔の目的と、術前・術中・術後管理を理解する。
4. 精神鎮静法の目的、適応および禁忌を理解する。
5. 亜酸化窒素（笑気）吸入鎮静法を実施できる。
6. 安全な歯科治療のための全身管理方法を理解する。
7. 救急薬品投与のための静脈路を確保できる。
8. 一次救命処置を実施できる。
9. 口腔顎顔面領域の慢性痛と神経麻痺の診断・治療法を理解する。

【教科書・参考書】

【教科書】 嶋田昌彦・椛山加綱・深山治久・丹羽均編：「わかる！できる！歯科麻酔実践ガイド」（医歯薬出版）
丹羽均・入船正浩・小長谷光・澁谷徹編：「第6版 臨床歯科麻酔学」（永末書店）
【参考書】 雨宮義弘監：「フローチャート式 歯科医のための痛みの診断・治療マニュアル」（医歯薬出版）
日本有病者歯科医療学会編：「第3版 有病者歯科学」（永末書店）

【教育（学習）方略 (LS)】

実際の臨床症例を見学することにより、全身麻酔法、精神鎮静法および全身管理法についての理解を深める。
局所麻酔法は、相互実習により手技を修得する。
亜酸化窒素（笑気）吸入鎮静法と静脈路確保は、相互実習により手技を修得する。
救急蘇生法は、蘇生練習用マネキンを用いて手技を修得する。
疼痛治療と神経麻痺に関する臨床講義を行う。

【フィードバック方法】

実習内容、レポート内容につき試問を行い理解度を確認し、必要に応じて補足説明を行う。

【評価方法 (Evaluation)】

臨床見学、マネキン実習、相互実習、提出されたレポート課題の評価、試験（口頭試問等）により、知識・技能・態度の項目を総合的に評価する。

【注意事項】

実習はすべて指導教員の指導のもとに行う。
診療室や病室では、歯科医療関係者としての立場を十分にわきまえ、適切な服装、態度、言葉使いをとるように気をつける。

やむを得ない事情で実習を欠席する場合には、事前に担当指導教員に必ず連絡する。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：教科書と参考書を用いて、予定されている実習内容につき予習を行う。(30分)

復 習：臨床実習実施時のノートや資料、並びに教科書を用いて復習する。(30分)

【オフィスアワー】

月曜日、火曜日 16：30～17：30

本館5階西棟 歯科麻酔学講座医局

他の曜日、時間も予約をすれば対応可能

歯内治療学

第5学年

【担当者】

教授：増田宜子
助教：森川雅己
助手：岩崎拓也、河村裕太、佐々木惣平、牧田将和、杉野凜太郎

【一般目標 (GIO)】

歯内治療学について、講義で学んだ理論と基礎実習で修得した知識、手技を基にして、臨床実習においては診療参加型実習を行い知識と手技を向上する。そして患者とのコミュニケーションを図るとともに態度を修得する。

【行動目標 (SBOs)】

1. 医療面接の必要性を説明できる (想起)。
2. 医療面接の導入にあたって、環境を整備できる (技能)。
3. 患者の (心理的、社会的、経済的) 背景を聴取できる (技能)。
4. わかりやすい言葉づかいで聞き取りやすく対応できる (態度)。
5. 医療面接の終わりに訴えを要約し再確認できる (技能)。
6. 様々な診査結果からの確に診断できる (解釈)。
7. 診断に基づいて適切な治療計画を立案できる (問題解決)。
8. 口腔内の複数の疾患の治療に対して優先順位を決定できる (問題解決)。
9. 治療計画を患者に説明できる (技能)。
12. 患者にこれから行うことを伝達できる (態度)。
13. 必要な器材を準備できる (技能)。
14. 処置に応じたポジショニングができる (技能)。
15. ラバーダム防湿法の目的を説明できる (解釈)。
16. ラバーダム防湿ができる (技能)。
17. 隔壁形成の目的を説明できる (解釈)。
18. 隔壁を形成できる (技能)。
19. 麻酔抜髄の目的を説明できる (解釈)。
20. 麻酔抜髄の各処置の目的を説明できる (解釈)。
21. 髄腔開拓ができる (技能)。
22. 根管長測定ができる (技能)。
23. 根管形成ができる (技能)。
24. 根管洗浄ができる (技能)。
25. 根管乾燥ができる (技能)。
26. 根管貼薬ができる (技能)。
27. 適切に仮封ができる (技能)。
28. 根管充填ができる (技能)。
29. 根管治療経過不良の原因を説明できる (解釈)。
30. 再根管治療の選択基準を説明できる (解釈)。
31. 再根管治療の術式を説明できる (解釈)。
32. 実体顕微鏡の特徴を説明できる (解釈)。
33. 実体顕微鏡による処置の特徴を説明できる (解釈)。
34. 漂白歯の分類を説明できる (解釈)。
35. 漂白法 (失活歯) を説明できる (解釈)。
36. 漂白の適応と禁忌・偶発症を説明できる (解釈)。
37. 歯内-歯周疾患を説明できる (解釈)。
38. 歯内-歯周疾患の治療法を説明できる (解釈)。
39. 外科的歯内治療の適応症を説明できる (解釈)。

40. 外科的歯内治療の種類を説明できる（解釈）。
41. 外科的歯内の術式を説明できる（解釈）。
42. Ni：Ti ファイルを用いた根管拡大について説明できる（解釈）。
43. Ni：Ti ファイルを用いた根管拡大ができる（技能）。
44. 実体顕微鏡を用いた歯根尖切除法の適応症を説明できる（解釈）。
45. 実体顕微鏡を用いた歯根尖切除法の術式を説明できる（解釈）。
46. 歯髄血管再生療法の適応症を説明できる（解釈）。
47. 歯髄血管再生療法の術式を説明できる（解釈）。
48. 清潔に配慮できる（態度）。
49. 適切に器材を操作できる（技能）。
50. 適切な薬剤を貼薬できる（技能）。
51. 患者の痛みや不快感に配慮できる（態度）。
52. 安全性に配慮できる（態度）。

〔教科書〕 勝海一郎他編：「歯内治療学 第6版」（医歯薬出版）

〔参考書〕 興地隆史他編：「第6版エンドドンティックス」（永末書店）

S. Cohen 他：「Pathways of the Pulp 12th ED」（Mosby）

河野 哲著：「新歯内療法学サイドリーダー第2版」（学建書院）

【教育（学習）方略（LS）】

学生間の相互実習およびインストラクターの担当する外来患者に対する診療実習の2つのパートにより構成される。講義において説明された学理と基礎実習で習得した技術とを有機的に結びつける。

すべてインストラクターの監督と指導下の実習を行い、診療室で職員（歯科衛生士等）から注意を受けた場合は、素直に従うこと。診療行為における勝手な行動は許されない。

- ①検査、診断、治療計画の立案
- ②相互実習（口腔内検査、ラバーダム防湿）
- ③見学ならびに介助
- ④診療機器の説明
- ⑤根管処置
- ⑥根管充填
- ⑧ Ni：Ti ファイルを用いた彎曲根管模型の機械的拡大（模型歯）
- ⑨顕微鏡を用いた根管治療（顎模型）
- ⑩顕微鏡を用いた歯根尖切除法（顎模型）

目標の習得ケースについて見学、実習を行い、インストラクターおよび教授試問において理解度を評価する。

【フィードバック方法】

口頭試問の内容についてあらかじめ提示するので良く復習すること。

評価に対する疑問がある場合は担当科目教授へ直接申し出ること。

【評価方法（Evaluation）】

1. 症例に対するレポート・口頭試問による理解度の評価
2. 教授試問による評価
3. 実習に臨む態度、身だしなみ、出席状況を総合的に評価

【注意事項】

1. 欠席せずに、自発的かつ積極的に実習に臨む。なお、欠席する場合は必ず電話連絡をすること。
2. 病院内においては、諸規定を守り、すべて指導者の指示に従って行動する。
3. 病院内においては、常に清潔を重んじ、他人に不快な念を与えない。
4. 身だしなみには特に注意を払い、著しく不適切な髪型、化粧などをしてはならない。
5. 病院内においては、常に言動に注意を払い、真摯な態度で実習に臨む。
6. 実習時に実習帳およびケースカードを持参し、適宜検印を受ける。

【準備学習時間（予習・復習）】

30分

予 習：事前に実習内容および予定を臨床実習手帳を元に確認し、しっかり準備する。(10分)

復 習：臨床実習手帳に記入した実習内容を復習する。(20分)

【オフィスアワー】

随時 17：30以後

増田 菌内治療学 本館西棟4階 教授室

歯 周 病 学

第5学年

【担当者】

教授：吉成伸夫

准教授：尾崎友輝、出分菜々衣

助教：中村 卓、小山尚人、加藤慎也、石岡康明、宮國 茜

助手：原 美音、大谷有希、郭 子揚

臨床教授：二宮雅美、田口洋一郎

【一般目標（GIO）】

歯周病学について、講義で学んだ理論と基礎実習で習得した知識、手技を基にして、臨床実習においては卒業後直ちに一般歯科臨床に携われるまでに、診療参加型実習を行い知識と手技を向上する。そして患者とのコミュニケーションを図るとともに態度を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 手指の消毒を熟練する。
2. 無菌的処置法を熟練する。
3. 口腔内検査ができる。
4. 各種検査法を熟練する。
5. 口腔内の写真撮影ができる。
6. 各種診療機器が操作できる。
7. 症例の見学ができる。
8. 診療の介助ができる。
9. インストラクターと共同で診療行為ができる。
10. 歯周組織検査項目について計測でき、その結果から適切な診断、治療計画を立案できる。
11. プロトコルから患者の治療ステージを理解し、治療を推察できる。
12. プラークコントロールの指導、注意点等を実施、対応できる。
13. スケーリング・ルートプレーニングの基本手技を実施できる。
14. 咬合調整、固定処置の実施、介助ができる。
15. 薬物療法を理解できる。
16. 再評価検査の意義を理解し、検査を実施、その結果を分析できる。
17. 歯周外科処置の見学、介助ができる。
18. 根分岐部病変の治療を見学し、治療法を選択することができる。
19. Supportive Periodontal Therapy（SPT）、メンテナンス治療の実際を理解できる。

【教科書】吉江弘正・伊藤公一・村上伸也・申基結編：「臨床歯周病学（第3版）」（医歯薬出版 2013）

野口俊英編：「最新の歯周外科手術をマスターしよう！—基本から高度症例への応用まで—」（第一出版 2010）

【参考書】江澤庸博：「一からわかるクリニカルペリオドントロジー」（医歯薬出版 2001）

【教育（学習）方略（LS）】

学生間の相互実習およびインストラクターの担当する外来患者に対する診療実習の2つのパートにより構成される。講義において説明された学理と基礎実習で習得した技術とを有機的に結びつける。

すべてインストラクターの監督と指導下に実習を行い、診療室で職員（歯科衛生士等）から注意を受けた場合は、素直に従うこと。診療行為における勝手な行動は許されない。

- ①検査、診断、治療計画の立案
- ②相互実習（歯周組織検査、プラークコントロール、歯肉縁上スケーリング）
- ③見学ならびに介助
- ④診療機器の説明

⑤ PBL

目標の習得ケースについて見学、実習を行い、インストラクターの試問により理解度を評価する。

【フィードバック方法】

第1クールの試験については解答例を学生イントラへ掲載するので確認すること。

【評価方法 (Evaluation)】

1. 症例に対するレポート・口頭試問による理解度の評価
2. 実習に臨む態度、身だしなみ、出席状況を総合的に評価

【注意事項】

1. 欠席せずに、自発的かつ積極的に実習に臨む。なお、欠席する場合は必ず電話連絡をすること。
2. 病院内においては、諸規定を守り、すべて指導者の指示に従って行動する。
3. 病院内においては、常に清潔を重んじ、他人に不快な念を与えない。
4. 身だしなみには特に注意を払い、著しく不適切な髪型、化粧などをしてはならない。
5. 病院内においては、常に言動に注意を払い、真摯な態度で実習に臨む。
6. 実習時に実習帳およびケースカードを持参し、適宜検印を受ける。

【準備学習時間 (予習・復習)】

30分

予 習：事前に実習内容および予定を臨床実習手帳を元に確認し、しっかり準備する。(10分)

復 習：臨床実習手帳に記入した実習内容を復習する。(20分)

【オフィスアワー】

随時 17:30以後

吉成 菌周病学 本館西棟5階 教授室

2025年度 5 学年 日程表

		月	火	水	木	金	土	日		
1	1	9:00~ 10:30	3/17	3/18	3/19	3/20	3/21	3/22	3/23	
	2	10:40~ 12:10			オリエンテーション (第1クール)	春分の日	教科書・機材販売(予定)			
	3	13:10~ 14:40					口腔生理学-1			
	4	14:50~ 16:20					口腔組織学-1			
	5	16:30~ 18:00								
2	1	9:00~ 10:30	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	
	2	10:40~ 12:10	臨床実習 1-1	臨床実習 1-2	臨床実習 1-3	臨床実習 1-4	口腔生化学-1			
	3	13:10~ 14:40					口腔解剖学-1			
	4	14:50~ 16:20					歯理工学-1			
	5	16:30~ 18:00					口腔病理学-1			
3	1	9:00~ 10:30	3/31	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6	
	2	10:40~ 12:10	臨床実習 1-5	臨床実習1-6	臨床実習 2-1	臨床実習 2-2	口腔微生物学-1	Weekly test-1		
	3	13:10~ 14:40		オリエンテーション 第2クールオリエン テーション			臨床実習 2-5	全部床義歯補綴学-1		
	4	14:50~ 16:20					臨床実習 2-4	歯科薬理学-1		
	5	16:30~ 18:00					臨床実習 2-3	保存修復学-1		
4	1	9:00~ 10:30	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13	
	2	10:40~ 12:10	臨床実習 2-3	臨床実習 2-4	臨床実習 2-5	入学式 (予定)	歯内治療学-1			
	3	13:10~ 14:40					歯周病学-1			
	4	14:50~ 16:20					健康診断			
	5	16:30~ 18:00								
5	1	9:00~ 10:30	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	
	2	10:40~ 12:10	臨床実習 2-6	臨床実習 2-7	臨床実習 2-8	臨床実習 2-9	ク라운ブリッジ補綴学-1			
	3	13:10~ 14:40					部分床義歯補綴学-1			
	4	14:50~ 16:20					公衆衛生学-1			
	5	16:30~ 18:00					口腔外科学-1			
6	1	9:00~ 10:30	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	
	2	10:40~ 12:10	臨床実習 2-10	臨床実習 2-11	臨床実習 2-12	臨床実習 2-13	歯科矯正学-1	Weekly test-2		
	3	13:10~ 14:40					小児歯科学-1			
	4	14:50~ 16:20					歯科放射線学-1			
	5	16:30~ 18:00					障がい者歯科学-1			
7	1	9:00~ 10:30	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	
	2	10:40~ 12:10	臨床実習 2-14	昭和の日 松濤祭 (予定)	臨床実習 2-15	臨床実習 2-16	摂食嚥下療法学-1	憲法記念日	みどりの日	
	3	13:10~ 14:40		臨床実習 2-14			歯科麻酔学-1			
	4	14:50~ 16:20		臨床実習 2-14			医療面接学-1			
	5	16:30~ 18:00		臨床実習 2-14			保存修復学-2			
8	1	9:00~ 10:30	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	5/11	
	2	10:40~ 12:10	こどもの日	振替休日	臨床実習 2-17	臨床実習 2-18	小児歯科学-2			
	3	13:10~ 14:40					臨床実習 2-17	歯科矯正学-2		
	4	14:50~ 16:20					臨床実習 2-17	歯内治療学-2		
	5	16:30~ 18:00					臨床実習 2-17	歯周病学-2		

		月	火	水	木	金	土	日	
9		5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17	5/18	
	1	9:00~ 10:30	臨床実習 2-19	臨床実習 2-20	臨床実習 2-21	臨床実習 2-22	全部床義歯補綴学-2	Weekly test-3	
	2	10:40~ 12:10					クラウン/リッジ補綴学-2		
	3	13:10~ 14:40					歯科放射線学-2		
	4	14:50~ 16:20					口腔外科学-2		
5	16:30~ 18:00								
10		5/19	5/20	5/21	5/22	5/23	5/24	5/25	
	1	9:00~ 10:30	臨床実習 2-23	臨床実習 2-24	臨床実習 2-25	臨床実習 2-26	部分床義歯補綴学-2		
	2	10:40~ 12:10					歯科麻酔学-2		
	3	13:10~ 14:40					医療面接学-2		
	4	14:50~ 16:20					障がい者歯科学-2		
5	16:30~ 18:00								
11		5/26	5/27	5/28	5/29	5/30	5/31	6/1	
	1	9:00~ 10:30	臨床実習 2-27	臨床実習 2-28	臨床実習 2-29	臨床実習 2-30	口腔組織学-2		
	2	10:40~ 12:10					口腔解剖学-2		
	3	13:10~ 14:40					口腔生理学-2		
	4	14:50~ 16:20					口腔生化学-2		
5	16:30~ 18:00								
12		6/2	6/3	6/4	6/5	6/6	6/7	6/8	
	1	9:00~ 10:30	臨床実習 2-31	臨床実習 2-32	臨床実習 2-33	臨床実習 2-34	口腔微生物学-2	Weekly test-4	
	2	10:40~ 12:10					口腔病理学-2		
	3	13:10~ 14:40					歯科薬理学-2		
	4	14:50~ 16:20					歯科理工学-2		
5	16:30~ 18:00								
13		6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15	
	1	9:00~ 10:30	臨床実習 2-35	臨床実習 2-36	臨床実習 2-37	臨床実習 2-38	全部床義歯補綴学-3		
	2	10:40~ 12:10					歯内治療学-3		
	3	13:10~ 14:40					保存修復学-3		
	4	14:50~ 16:20					歯周病学-3		
5	16:30~ 18:00								
14		6/16	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22	
	1	9:00~ 10:30	I 期試験	臨床実習 2-39	I 期試験解説	臨床実習 2-40	クラウン/リッジ補綴学-3		
	2	10:40~ 12:10					部分床義歯補綴学-3		
	3	13:10~ 14:40					公衆衛生学-2		
	4	14:50~ 16:20					口腔外科学-3		
5	16:30~ 18:00								
15		6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	6/29	
	1	9:00~ 10:30	臨床実習 2-41	臨床実習 2-42	臨床実習 2-43	臨床実習 2-44	口腔解剖学-3	Weekly test-5	
	2	10:40~ 12:10					小児歯科学-3		
	3	13:10~ 14:40					歯科矯正学-3		
	4	14:50~ 16:20					障がい者歯科学-3		
5	16:30~ 18:00								
16		6/30	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	
	1	9:00~ 10:30	臨床実習 2-45	臨床実習 2-46	臨床実習 2-47	臨床実習 2-48	摂食嚥下療法学-2	I 期試験 追再試	
	2	10:40~ 12:10					医療面接学-3		
	3	13:10~ 14:40					歯科麻酔学-3		
	4	14:50~ 16:20					歯科放射線学-3		
5	16:30~ 18:00								

		月	火	水	木	金	土	日
		7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	7/13
17	1	9:00~ 10:30	臨床実習 2-49	臨床実習 2-50	臨床実習 2-51	臨床実習 2-52	口腔微生物学-3	
	2	10:40~ 12:10					口腔生化学-3	
	3	13:10~ 14:40					口腔組織学-3	
	4	14:50~ 16:20					口腔生理学-3	
	5	16:30~ 18:00						

		7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20
		7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20
18	1	9:00~ 10:30	臨床実習 2-53	臨床実習 2-54	臨床実習 2-55	臨床実習 2-56	口腔病理学-3	Weekly test-6
	2	10:40~ 12:10					歯科薬理学-3	
	3	13:10~ 14:40					公衆衛生学-3	
	4	14:50~ 16:20					歯科理工学-3	
	5	16:30~ 18:00						

		7/21	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27
		7/21	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27
19	1	9:00~ 10:30	海の日	臨床実習 2-57	臨床実習 2-58	国家試験過去問 試験(第1回)	全部床義歯補綴学-4	
	2	10:40~ 12:10					歯科矯正学-4	
	3	13:10~ 14:40					歯周病学-4	
	4	14:50~ 16:20					保存修復学-4	
	5	16:30~ 18:00						

		7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3
		7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3
20	1	9:00~ 10:30	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

		8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10
		8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10
21	1	9:00~ 10:30	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

		8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17
		8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17
22	1	9:00~ 10:30	山の日	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

		8/18	8/19	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24
		8/18	8/19	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24
23	1	9:00~ 10:30	臨床実習 2-59	臨床実習 2-60	臨床実習 2-61	臨床実習 2-62	部分床義歯補綴学-4	国家試験過去問 試験(第1回)追再試験
	2	10:40~ 12:10					クラウンブリッジ補綴学-4	
	3	13:10~ 14:40					歯内治療学-4	
	4	14:50~ 16:20					口腔外科学-4	
	5	16:30~ 18:00						

		8/25	8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31
		8/25	8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31
24	1	9:00~ 10:30	臨床実習 2-63	臨床実習 2-64	臨床実習 2-65	臨床実習 2-66	小児歯科学-4	Weekly test-7
	2	10:40~ 12:10					歯科麻酔学-4	
	3	13:10~ 14:40					歯科放射線学-4	
	4	14:50~ 16:20					障がい者歯科学-4	
	5	16:30~ 18:00						

		月	火	水	木	金	土	日
		9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6	9/7
25	1	臨床実習 2-67	臨床実習 2-68	臨床実習 2-69	臨床実習 2-70	医療面接学-4		
	2					口腔組織学-4		
	3					口腔解剖学-4		
	4					口腔生理学-4		
	5							
		9/8	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13	9/14
26	1	臨床実習 2-71	臨床実習 2-72	臨床実習 2-73	臨床実習 2-74	クラウンブリッジ補綴学-5		
	2					口腔病理学-4		
	3					口腔微生物学-4		
	4					口腔生化学-4		
	5							
		9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	9/20	9/21
27	1	敬老の日	臨床実習 2-75	臨床実習 2-76	臨床実習 2-77	歯科薬理学-4	Weekly test-8	
	2					部分床義歯補綴学-5		
	3					保存修復学-5		
	4					歯内治療学-5		
	5							
		9/22	9/23	9/24	9/25	9/26	9/27	9/28
28	1	臨床実習 2-78	秋分の日	臨床実習 2-79	演習1	演習1		
	2							
	3							
	4							
	5							
		9/29	9/30	10/1	10/2	10/3	10/4	10/5
29	1	臨床実習 2-80	臨床実習 2-81	臨床実習 2-82	臨床実習 2-83	全部床義歯補綴学-5		
	2					公衆衛生学-4		
	3					歯科理工学-4		
	4					歯周病学-5		
	5							
		10/6	10/7	10/8	10/9	10/10	10/11	10/12
30	1	臨床実習 2-84	臨床実習 2-85	臨床実習 2-86	臨床実習 2-87	口腔組織学-5	Weekly test-9	
	2					歯科矯正学-5		
	3					歯科放射線学-5		
	4					口腔外科学-5		
	5							
		10/13	10/14	10/15	10/16	10/17	10/18	10/19
31	1	スポーツの日	臨床実習 2-88	臨床実習 2-89	臨床実習 2-90	歯科麻酔学-5		
	2					小児歯科学-5		
	3					口腔解剖学-5		
	4					公衆衛生学-5		
	5							
		10/20	10/21	10/22	10/23	10/24	10/25	10/26
32	1	臨床実習 2-91	臨床実習 2-92	臨床実習 2-93	臨床実習 2-94	口腔生理学-5		
	2					口腔生化学-5		
	3					口腔微生物学-5		
	4					歯科理工学-5		
	5							

		月	火	水	木	金	土	日	
33		10/27	10/28	10/29	10/30	10/31	11/1	11/2	
	1	9:00~10:30	臨床実習 2-95	臨床実習 2-96	臨床実習 2-97	臨床実習 2-98	部分床義歯補綴学-6	Weekly test-10	
	2	10:40~12:10					公衆衛生学-6		
	3	13:10~14:40					歯科薬理学-5		
	4	14:50~16:20					口腔病理学-5		
5	16:30~18:00								
34		11/3	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8	11/9	
	1	9:00~10:30	文化の日	臨床実習 2-99	臨床実習 2-100	臨床実習 2-101	小児歯科学-6		
	2	10:40~12:10					保存修復学-6		
	3	13:10~14:40					歯内治療学-6		
	4	14:50~16:20					歯周病学-6		
5	16:30~18:00								
35		11/10	11/11	11/12	11/13	11/14	11/15	11/16	
	1	9:00~10:30	臨床実習 2-102	臨床実習 2-103	臨床実習 2-104	臨床実習 2-105	ク라운ブリッジ補綴学-6		
	2	10:40~12:10					歯科矯正学-6		
	3	13:10~14:40					口腔外科学-6		
	4	14:50~16:20					公衆衛生学-7		
5	16:30~18:00								
36		11/17	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22	11/23	
	1	9:00~10:30	臨床実習 2-106	臨床実習 2-107	臨床実習 2-108	臨床実習 2-109	全部床義歯補綴学-6	Weekly test-11	勤労感謝の日
	2	10:40~12:10					歯科麻酔学-6		
	3	13:10~14:40					歯科放射線学-6		
	4	14:50~16:20					摂食嚥下療法学-3		
5	16:30~18:00								
37		11/24	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29	11/30	
	1	9:00~10:30	振替休日	臨床実習 2-110	臨床実習 2-111	臨床実習 2-112	臨床実習 2-113		
	2	10:40~12:10							
	3	13:10~14:40							
	4	14:50~16:20							
5	16:30~18:00								
38		12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	
	1	9:00~10:30	Ⅱ期試験	臨床実習 2-114	Ⅱ期試験解説	演習2	演習2		
	2	10:40~12:10							
	3	13:10~14:40							
	4	14:50~16:20							
5	16:30~18:00								
39		12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14	
	1	9:00~10:30	臨床実習 2-115	臨床実習 2-116	臨床実習 2-117	臨床実習 2-118 臨床実地試験 (CPX)視察日	臨床実習 2-119		
	2	10:40~12:10							
	3	13:10~14:40							
	4	14:50~16:20							
5	16:30~18:00								
40		12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20	12/21	
	1	9:00~10:30	臨床実習 2-120	臨床実習 2-121	臨床実習 2-122	臨床実習 2-123	臨床実習 2-124	Ⅱ期試験 追再試験	
	2	10:40~12:10							
	3	13:10~14:40							
	4	14:50~16:20							
5	16:30~18:00								

		月	火	水	木	金	土	日	
41	1	9:00~	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	12/27	12/28
	2	10:30~	臨床実習 2-125	臨床実習 2-126	臨床実習 2-127	臨床実習 2-128	臨床実習 2-129	冬季休業	冬季休業
	3	12:10~							
	4	13:10~							
	5	14:50~							
6	16:20~								
42	1	9:00~	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3	1/4
	2	10:30~	冬季休業	冬季休業	冬季休業	元旦	冬季休業	冬季休業	冬季休業
	3	12:10~							
	4	13:10~							
	5	14:40~							
6	16:30~								
43	1	9:00~	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11
	2	10:30~	臨床実習 2-130	臨床実習 2-131	臨床実習 2-132	臨床実習 2-133	臨床実習 2-134		
	3	12:10~							
	4	13:10~							
	5	14:40~							
6	16:20~								
44	1	9:00~	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17	1/18
	2	10:30~	成人の日	臨床実習 2-135	ファウンダースデー	臨床実習 2-136	臨床実習 2-137		
	3	12:10~							
	4	13:10~							
	5	14:50~							
6	16:30~								
45	1	9:00~	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24	1/25
	2	10:30~	臨床実習 (予備日)	臨床実習 2-138	臨床実習 2-139	臨床実習 2-140	臨床実習 2-141		
	3	12:10~							
	4	13:10~							
	5	14:40~							
6	16:20~								
46	1	9:00~	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1
	2	10:30~	臨床実習 (予備日)	一斉技能試験 (CSX)	臨床実習 2-142	創立記念日	臨床実習 2-143		
	3	12:10~							
	4	13:10~							
	5	14:50~							
6	16:30~								
47	1	9:00~	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	2/8
	2	10:30~	臨床実習 (予備日)	進級試験	臨床実習 2-144	卒業式 (予定)	臨床実習 (予備日)		
	3	12:10~							
	4	13:10~							
	5	14:40~							
6	16:20~								
48	1	9:00~	2/9	2/10	2/11	2/12	2/13	2/14	2/15
	2	10:30~	国家試験過去問 試験(第2回)	臨床実習 (予備日)	建国記念の日	臨床実習 (予備日)	一斉技能試験 (CSX) 追試験		
	3	12:10~							
	4	13:10~							
	5	14:50~							
6	16:30~								

		月	火	水	木	金	土	日
		2/16	2/17	2/18	2/19	2/20	2/21	2/22
49	1	9:00~ 10:30	進級試験 追再試験	臨床実習 (予備日)	臨床実習 (歯周外科豚顎 実習・実習館)	国家試験過去問試験 (第2回)追再試験	一斉技能試験 (CSX) 再試験	
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						
		2/23	2/24	2/25	2/26	2/27	2/28	3/1
50	1	9:00~ 10:30	天皇誕生日					
	2	10:40~ 12:10						
	3	13:10~ 14:40						
	4	14:50~ 16:20						
	5	16:30~ 18:00						

2025年度 第5学年 年間予定

2025年

3月		4月		5月		6月		7月		8月	
1	土	1	火 オリエンテーション (第2クール)	1	木	1	日	1	火	1	金
2	日	2	水	2	金	2	月	2	水	2	土
3	月	3	木	3	土 憲法記念日	3	火	3	木	3	日
4	火	4	金	4	日 みどりの日	4	水	4	金	4	月
5	水	5	土 Weekly Test 1	5	月 こどもの日	5	木	5	土 I期追・再試験	5	火
6	木	6	日	6	火 振替休日	6	金	6	日	6	水
7	金	7	月	7	水	7	土 Weekly Test 4	7	月	7	木
8	土	8	火	8	木	8	日	8	火	8	金
9	日	9	水	9	金	9	月	9	水	9	土
10	月	10	木 入学式	10	土	10	火	10	木	10	日
11	火	11	金 健康診断	11	日	11	水	11	金	11	月 山の日
12	水	12	土	12	月	12	木	12	土	12	火
13	木	13	日	13	火	13	金	13	日	13	水
14	金	14	月	14	水	14	土	14	月	14	木
15	土	15	火	15	木	15	日	15	火	15	金
16	日	16	水	16	金	16	月 I期試験	16	水	16	土 夏季休業終了
17	月	17	木	17	土 Weekly Test 3	17	火	17	木	17	日
18	火	18	金	18	日	18	水 I期試験 解説	18	金	18	月
19	水 オリエンテーション	19	土	19	月	19	木	19	土 Weekly Test 6	19	火
20	木 春分の日	20	日	20	火	20	金	20	日	20	水
21	金 授業開始	21	月	21	水	21	土	21	月 海の日	21	木
22	土	22	火	22	木	22	日	22	火	22	金
23	日	23	水	23	金	23	月	23	水	23	土 国家試験過去問試験(第1回)再試験
24	月	24	木	24	土	24	火	24	木 国家試験過去問試験(第1回)	24	日
25	火	25	金	25	日	25	水	25	金	25	月
26	水	26	土 Weekly Test 2	26	月	26	木	26	土	26	火
27	木	27	日	27	火	27	金	27	日 夏季休業(~8/16)	27	水
28	金	28	月	28	水	28	土 Weekly Test 5	28	月	28	木
29	土	29	火 昭和の日 松濤祭	29	木	29	日	29	火	29	金
30	日	30	水	30	金	30	月	30	水	30	土 Weekly Test 7
31	月			31	土			31	木	31	日

2 火

13 土

15 月

2026年

9月		10月		11月		12月		1月		2月	
1	月	1	水	1	土 Weekly Test 10	1	月 II期試験	1	木 元日	1	日
2	火	2	木	2	日	2	火	2	金	2	月
3	水	3	金	3	月 文化の日	3	水 II期試験 解説	3	土	3	火 進級試験
4	木	4	土	4	火	4	木 演習 2	4	日 冬季休業終了	4	水
5	金	5	日	5	水	5	金 演習 2	5	月	5	木 卒業式
6	土	6	月	6	木	6	土	6	火	6	金
7	日	7	火	7	金	7	日	7	水	7	土
8	月	8	水	8	土	8	月	8	木	8	日
9	火	9	木	9	日	9	火	9	金	9	月 国家試験過去問試験(第2回)
10	水	10	金	10	月	10	水	10	土	10	火
11	木	11	土 Weekly Test 9	11	火	11	木 臨床実地試験(CPX)視察日	11	日	11	水 建国記念の日
12	金	12	日	12	水	12	金	12	月 成人の日	12	木
13	土	13	月 スポーツの日	13	木	13	土	13	火	13	金 一斉技能試験追試験(CSX)
14	日	14	火	14	金	14	日	14	水 ファウンダーズデイ	14	土
15	月 敬老の日	15	水	15	土	15	月	15	木	15	日
16	火	16	木	16	日	16	火	16	金	16	月 進級試験 追・再試験
17	水	17	金	17	月	17	水	17	土	17	火
18	木	18	土	18	火	18	木	18	日	18	水 豚顎実習
19	金	19	日	19	水	19	金	19	月	19	木 国家試験過去問試験(第2回)再試験
20	土 Weekly Test 8	20	月	20	木	20	土 II期追・再試験	20	火	20	金 一斉技能試験再試験(CSX)
21	日	21	火	21	金	21	日	21	水	21	土
22	月	22	水	22	土 Weekly Test 11	22	月	22	木	22	日
23	火 秋分の日	23	木	23	日 勤労感謝の日	23	火	23	金	23	月 天皇誕生日
24	水	24	金	24	月 振替休日	24	水	24	土	24	火
25	木 演習 1	25	土	25	火	25	木	25	日	25	水
26	金 演習 1	26	日	26	水	26	金	26	月	26	木
27	土	27	月	27	木	27	土 冬季休業(~1/4)	27	火 一斉技能試験(CSX)	27	金
28	日	28	火	28	金	28	日	28	水	28	土
29	月	29	水	29	土	29	月	29	木 創立記念日		
30	火	30	木	30	日	30	火	30	金		
		31	金			31	水	31	土		

病 院 概 要

【病院概要】

病院敷地面積	10,986.5㎡
病院建設延面積	15,843.80㎡（地下1階、地上4階）
病院理念	建学の理念に立脚し、患者さん個人の尊厳を重んじた手厚い歯科医療を行う。 教学一致の不断の研鑽と高雅な学識、技法に基づき学生と研修歯科医に充溢した臨床教育、歯科医師の生涯教育を継続的に行い、人間性豊かな知識・技術・態度に優れた医療人を育成する。 真理を追求し、真理に基づいた歯科医療のために幅広く有意義な臨床研究を推進し、先進的かつ質の高い歯科医療を提供しつつ優れた医療人を育成し、歯科医学の発展と地域社会に貢献する。
基本方針	私たちは「やさしく、安全、親切で、確かな医療」を提供できる病院を目指します。
標榜科	歯科、矯正歯科、小児歯科、歯科口腔外科、内科、消化器内科、神経内科、整形外科、松本歯科大学二條皮ふ科クリニック※サテライト診療所
受付・診療時間	歯科診療部 初診受付 平日 8:30～11:00/13:00～16:00 土曜日 8:30～11:00 再診受付 平日 8:30～11:30/13:00～16:30 土曜日 8:30～11:30
診療時間	診療時間 平日 9:00～12:00/13:00～17:00 土曜日 9:00～12:00 内科・消化器内科・神経内科 初診受付 平日 8:30～11:30/14:00～16:30 再診受付 平日 8:30～11:30/14:00～16:30 診療時間 平日 9:00～12:00/14:00～17:00 ※土曜日は休診となります。 ※木曜日は午前予約のみ、金曜日は午後予約のみ 整形外科 初診受付 平日 8:30～10:30/14:00～16:00 再診受付 平日 8:30～11:30/14:00～16:30 診療時間 平日 9:00～12:00/14:00～17:00 ※土曜日は休診となります。 ※水曜日、金曜日の初診受付は午前中のみとなります。
休診日	日曜、祝日、創立記念日、夏季休業、年末年始休業等
患者数	2023年度1日平均外来 470人（医科を含む） 2023年度1日平均入院 7人（同）
病床数	病床数31床

主な設備

チェアーユニット108台、超音波診断装置、MRI、マルチスライス CT スキャナー、歯科用小型エックス線 CT (3DX)、マイクロSCOPEレーザー治療装置、レーザー溶接機、デンタルキャデウムシステム、歯科用シミュレーションシステム、電子カルテシステム、医療用画像管理システム (PACS)

【カルテの閲覧】

レポート提出等で電子カルテの閲覧が必要になった場合は、担当医の許可を得て指示を仰ぐ。

【法令関係】

歯科医業を行っていくためには、種々の法令の制約を受けることになる。歯科医業に関連する法令としては、歯科医師法、薬機法、医療法、健康保険法（国民健康保険法）、保険医療機関及び保険医療養担当規則、歯科診療報酬点数表などがある。

歯科医師法

歯科医師の任務、免許、試験、業務等について定めた法律

薬機法

医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器及び再生医療等製品に関する事項を規制し、これらの品質、有効性及び安全性を確保することを目的とする法律

医療法

医療を提供する体制の確保を図り、もって国民の健康の保持に寄与することを目的とし、医療施設の計画的な整備、医療施設の人的構成、構造設備、管理体制等の規制、医療法人の規制等を行う法律

健康保険法

医療保険制度の中の1つの保険制度
勤労者（加入者）及びその家族が業務外の事由により病気やけがをしたり、死亡、出産した場合に備えて、被保険者と事業主とが保険料を負担して、被保険者及び被扶養者の保険事故に対して保険給付を行い、勤労者やその家族の生活の安定を図ることを目的とした法律

保険医療機関及び保険医療養担当規則

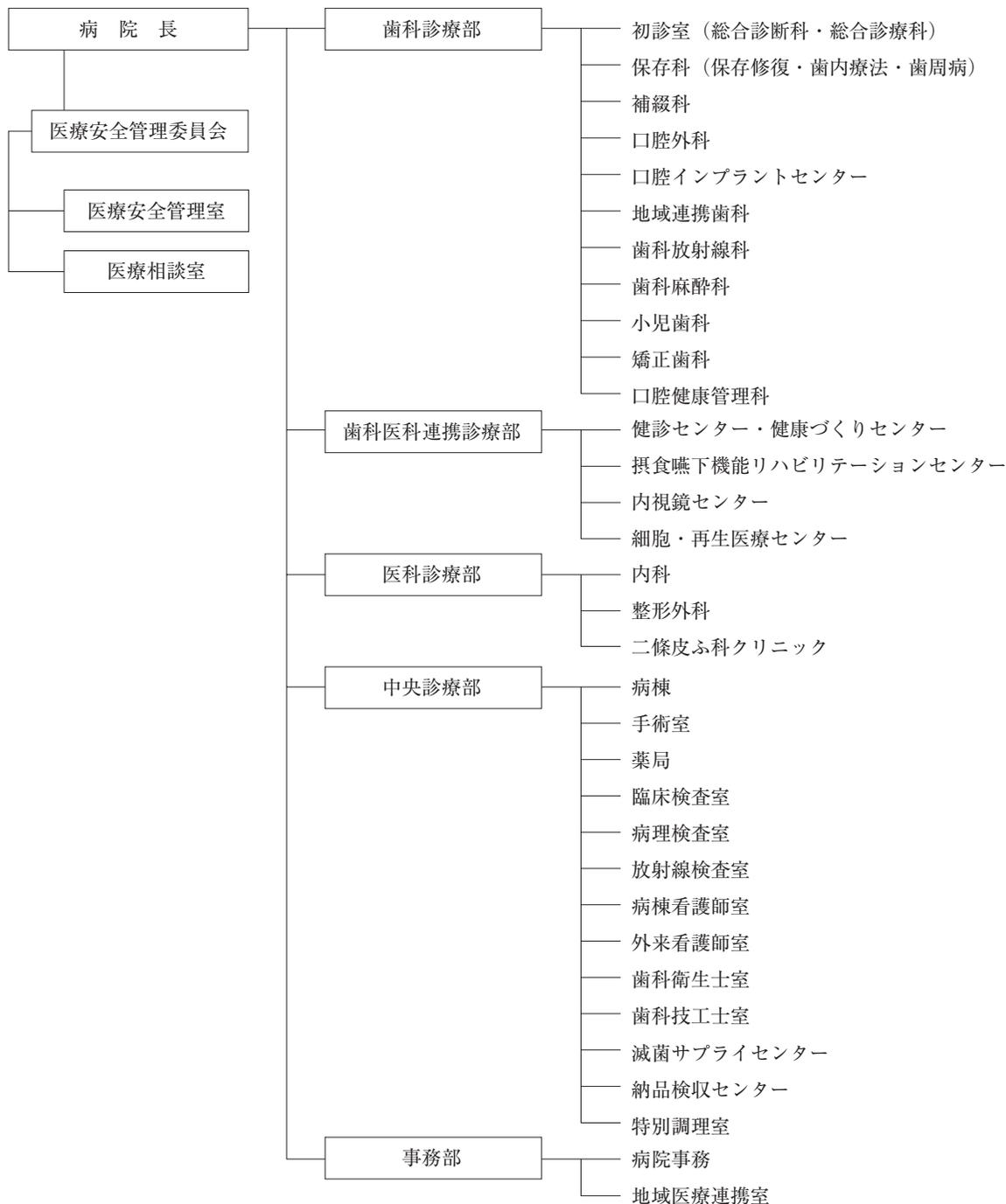
保険医療の原則を定めたものであり、保険医療機関が保険診療を行うにあたっての責務等を定めたものと、保険医が診療を行う際の診療方針等を定めたものの2部から構成されている。

歯科診療報酬点数表

保険診療においては個々の医療行為を点数化し、診療報酬明細書（レセプト）として支払機関を通じて保険者に請求する。1点単価は10円であり、歯科点数表は基本診療科、医学管理等、在宅医療、検査、画像診断、投薬、注射、リハビリ、処置、手術、麻酔、放射線治療、歯冠修復及び欠損補綴、歯科矯正・病理診断、その他の各部から構成されている。歯科点数表は通常2年ごとに改定される。

【組織図】

病院の組織図は以下のようになっている。病院の運営に係る重要事項は、歯科診療会議及び医科診療会議で審議される。臨床実習については、臨床実習運営委員会によりカリキュラムの策定・実習の評価・進級の予備判定等、運営が図られている。



施設概要図

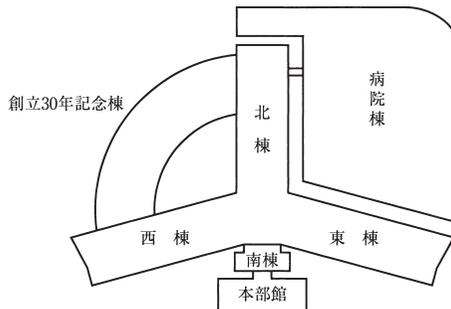


①	大 学 本 館	⑧	陸 上 競 技 場
②	本 部 館	⑨	野 球 場
③	体 育 館	⑩	ゴ ル フ 練 習 場
④	実 習 館	⑪	創 立 30 年 記 念 棟
⑤	講 義 館	⑫	総 合 歯 科 医 学 研 究 所
⑥	ハ イ テ ク セ ン タ ー	⑬	CAMPUS INN
⑦	図 書 会 館	⑭	病 院 棟

(本部館) 概略

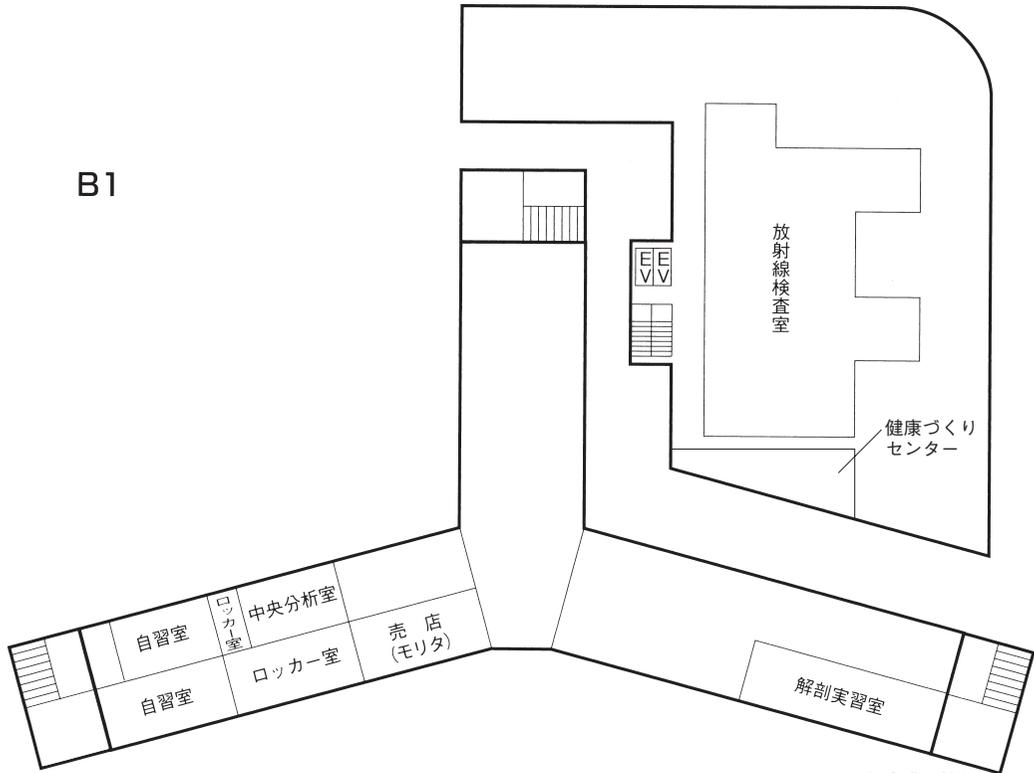
(本館)

(病院棟)

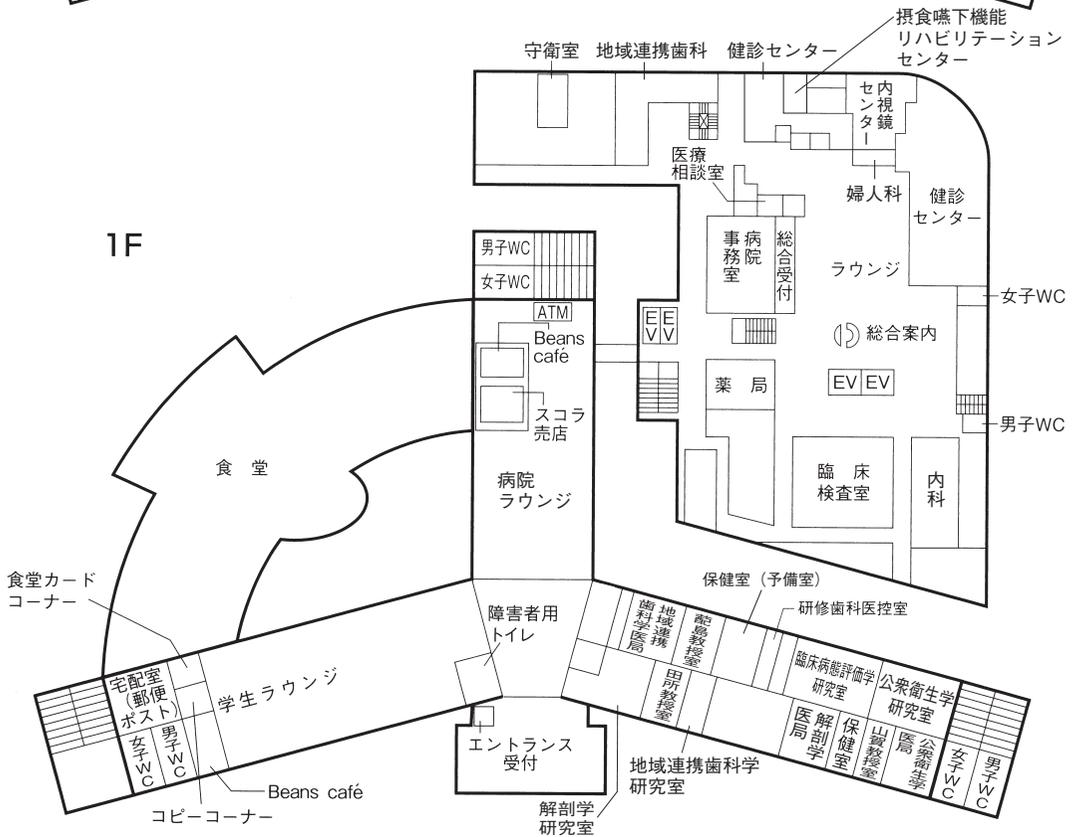


	西棟	北棟	本部館	南棟	東棟	病院棟	創立30年記念棟	
7F	屋上	講堂			屋上			
6F					教室 (601、602)			
5F	吉成教授 (歯科保存学) 田口教授 (歯科放射線学) 澁谷教授 (歯科麻酔学) (病院総合診療部門) 臨床研修医控室 共同教授室 (川特任教授)	5学年 ロッカー 一室			吉田教授 (微生物学) 村上教授 (病理学) 芳澤教授 (口腔顎顔面外科学) 栗原教授 ()			
4F	中村教授 (解剖学) 歯科技工士控室 歯科技工士技工室 増田教授 (歯科保存学) 内科医局 2	多目的 ホール			学生技工自習室 臨床予備自習室 鋳造・研磨室 重合室、石膏室 共同教授室 (音楽教授)	病棟 中央手術室 サービステーション 談話室・相談室		
3F	衛生学院	歯科衛生 士学科第 2実習室	役員室 法人 (秘書 課) 法人 (財務)		山本特任教授 (病院総合診療 部門) 臨床予備実習室 歯科衛生士学科第3実習室 大学史編纂室 衛生学院長室 亀山教授 (歯科保存学)	小児歯科・矯正歯科 連絡通路 (本館北棟3階) 納品検収センター 滅菌サブライセンター 整形外科	会議室	
2F	学事室 法人 (IT室)	病院長室 臨床実習・ 研修室 共同教授室 病院共同 教員室 歯科衛生士室	学長室 事務局 経理室 法人 (総務)	自習室	大須賀教授 (小児歯科学) 示談室 中央スタジオ 総合診療室医局	口腔外科・口腔インプラント科 口腔健康管理科 2階総合ホール 連絡通路 (本館北棟2階) 保存科 補綴科 初診室 (総合診断科、総合診療科)	レストラン カフェ	
1F	学生ラウンジ Beans café 宅配室 (郵便ポスト) 食堂カードコーナー コピーコーナー	病院ラウ ンジ Beans café ストア売店 ATM (八十二・ ゆうちょ)	庶務課 入試広報室 管理課	エン ト ラ ン ス 受 付	田所教授 (解剖学) 龍島教授 保健室 山賀教授 (公衆衛生学)	地域連携歯科 守衛室 薬局 臨床検査室 内科 健診センター 内視鏡センター 婦人科	摂食嚥下機能リハビ リテーションセン ター 総合案内 総合受付 自動精算コー ナー 病院事務室 医療相談室 連絡通路 (本館北棟1階)	食堂
B F	売店 (モリタ) 中央分析室 自習室、ロッカー室				解剖実習室 霊安室 保存室	放射線検査室 健康づくりセンター		

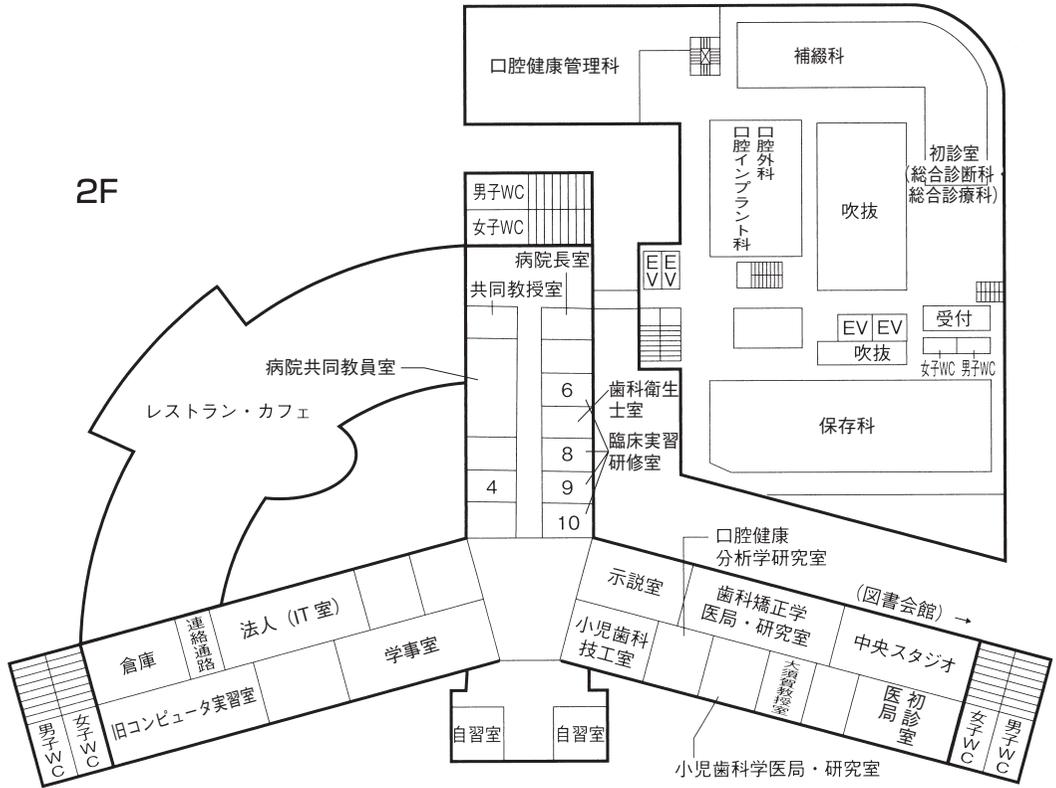
B1



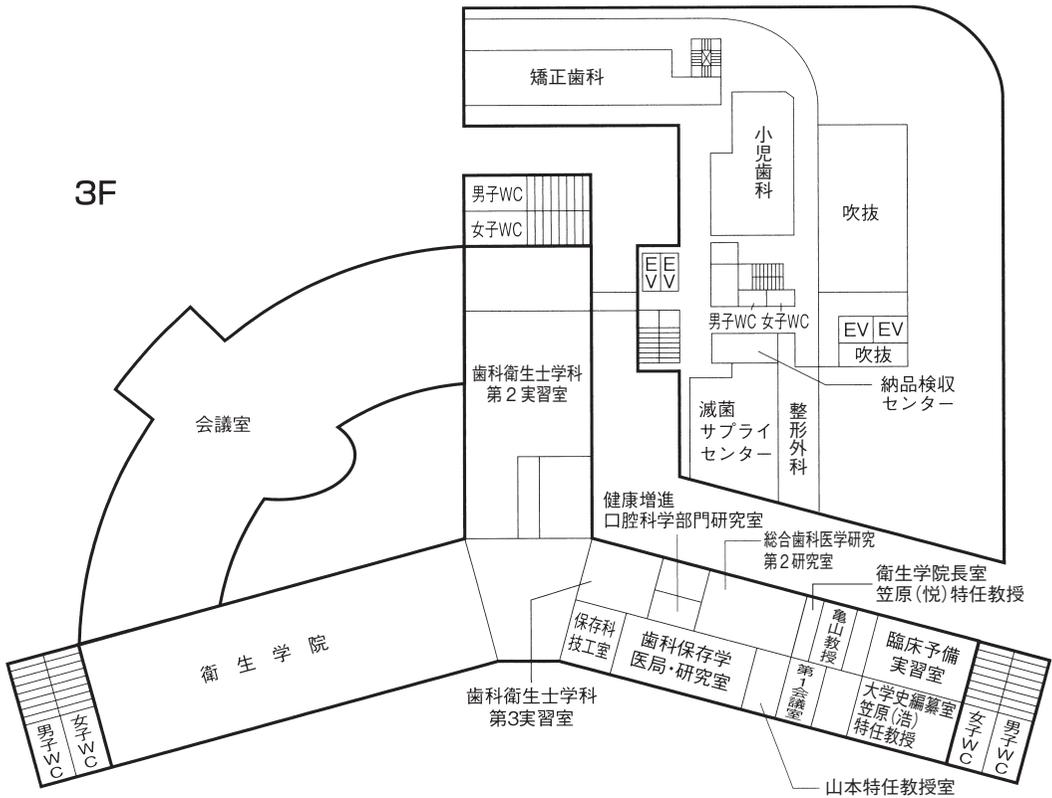
1F



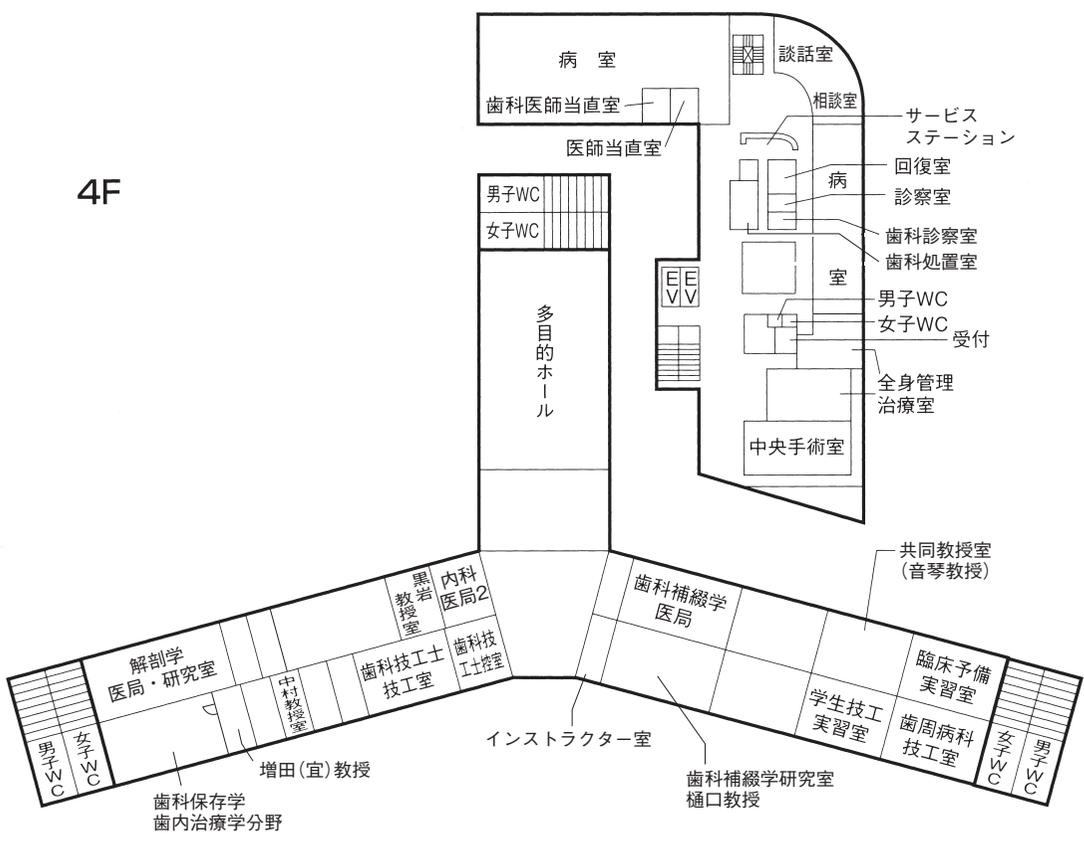
2F



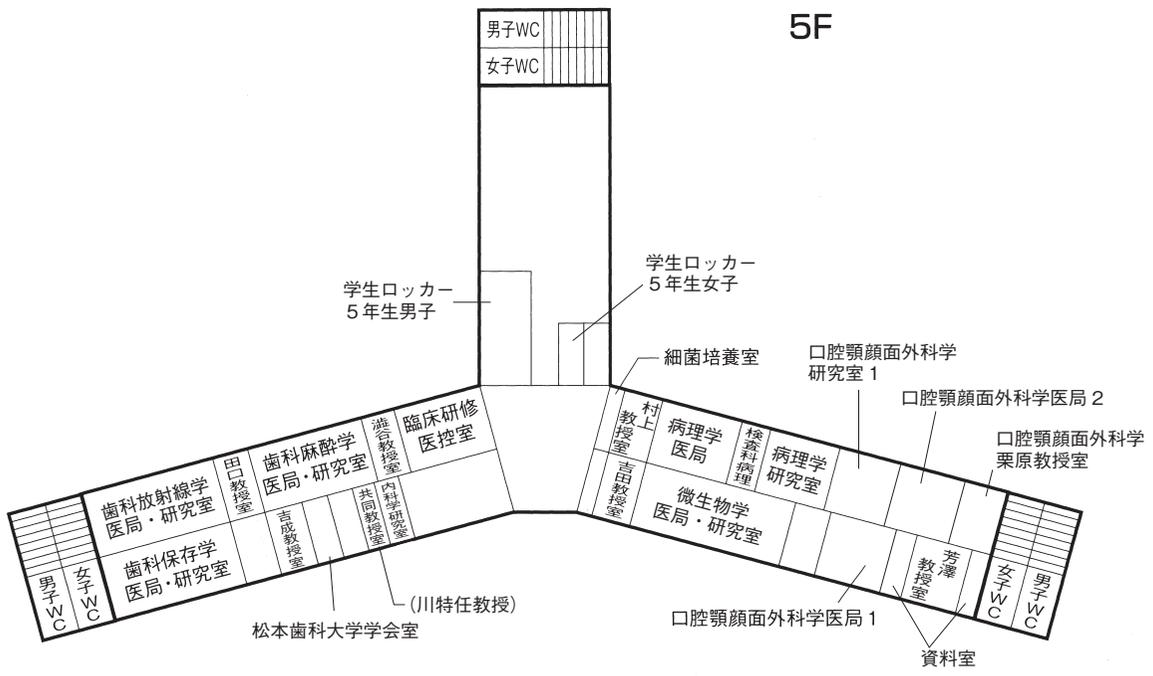
3F

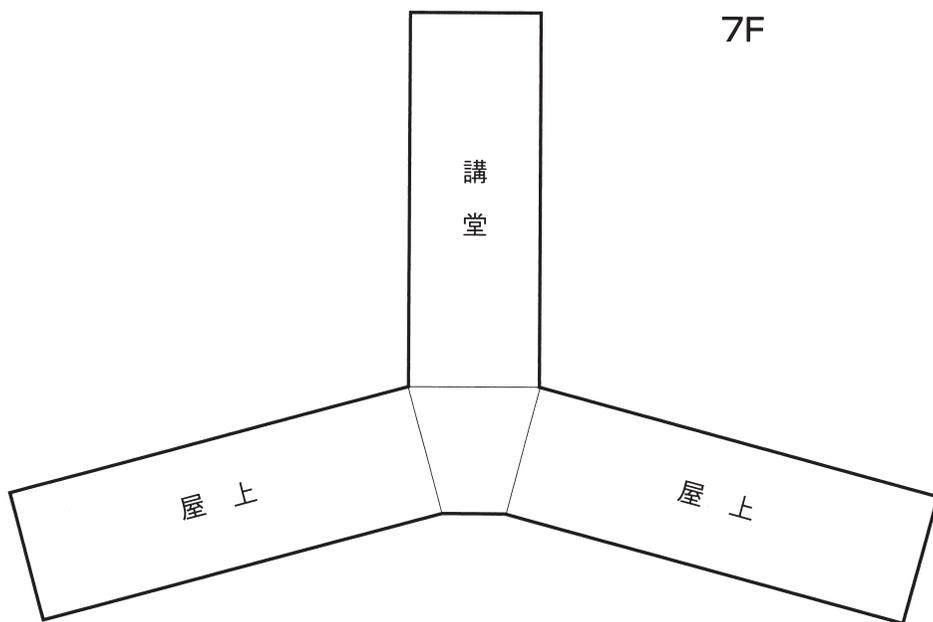
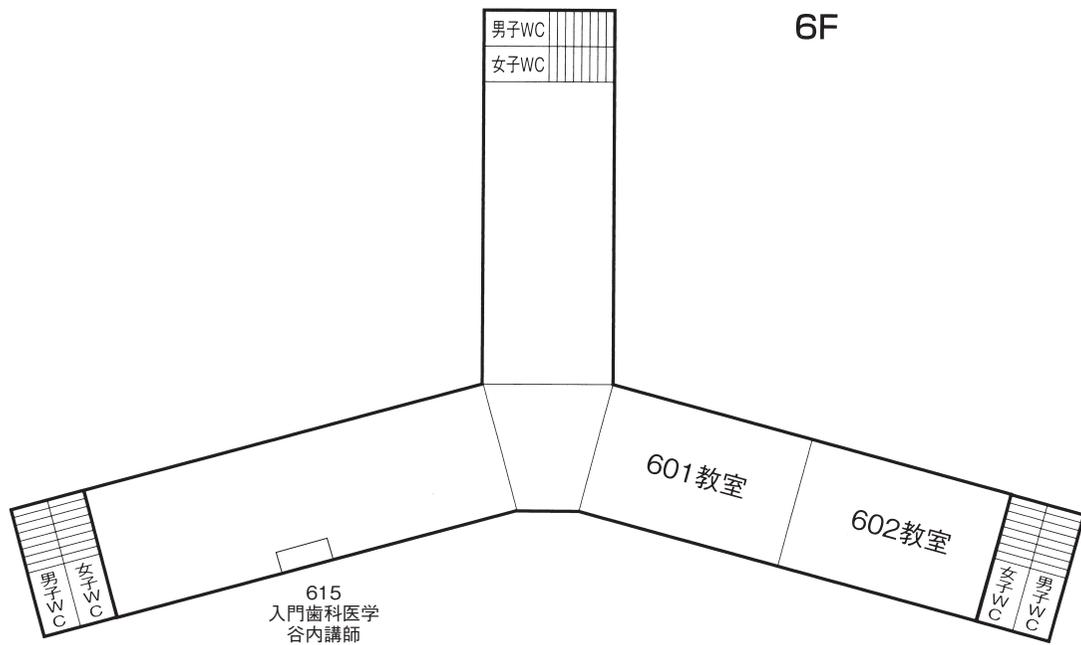


4F



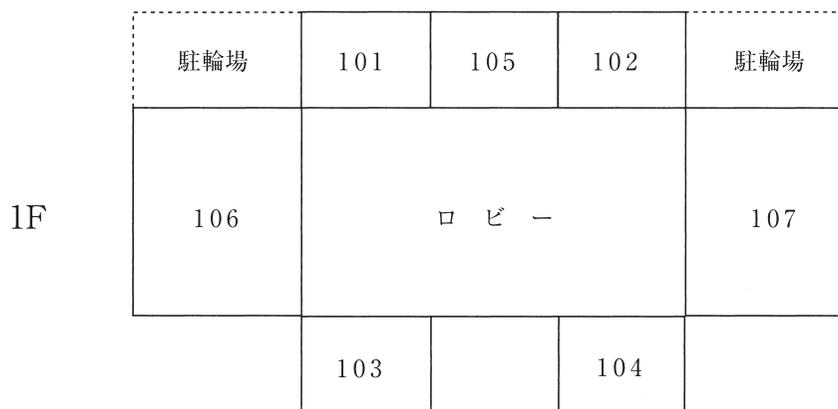
5F



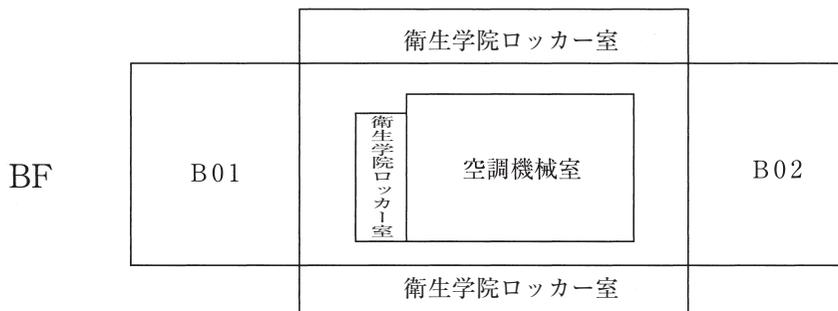


講義館概要

- | | |
|----------|-----------|
| ① | ⑥ |
| ② 共同教授室 | ⑦ |
| ③ 非常勤講師室 | ⑧ 英語非常勤講師 |
| ④ | ⑨ |
| ⑤ | ⑩ |

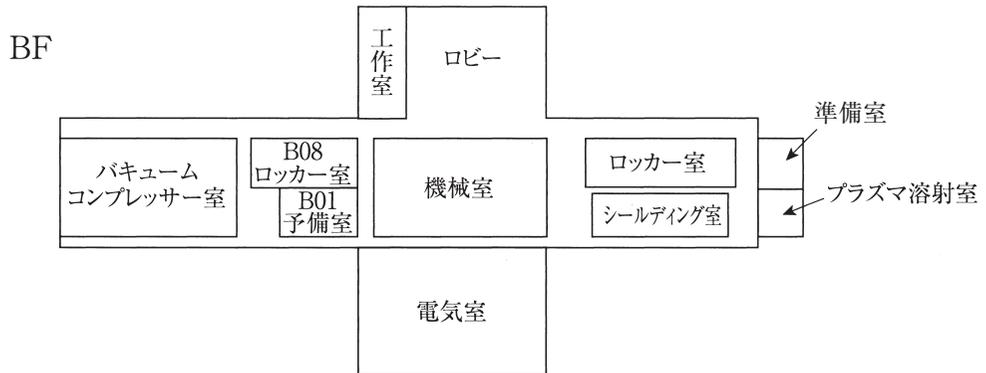


(正面玄関)

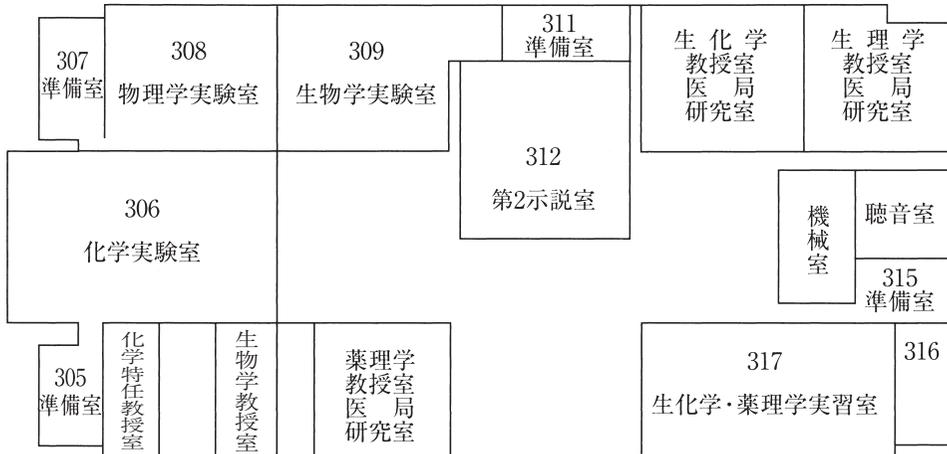


実習館概要

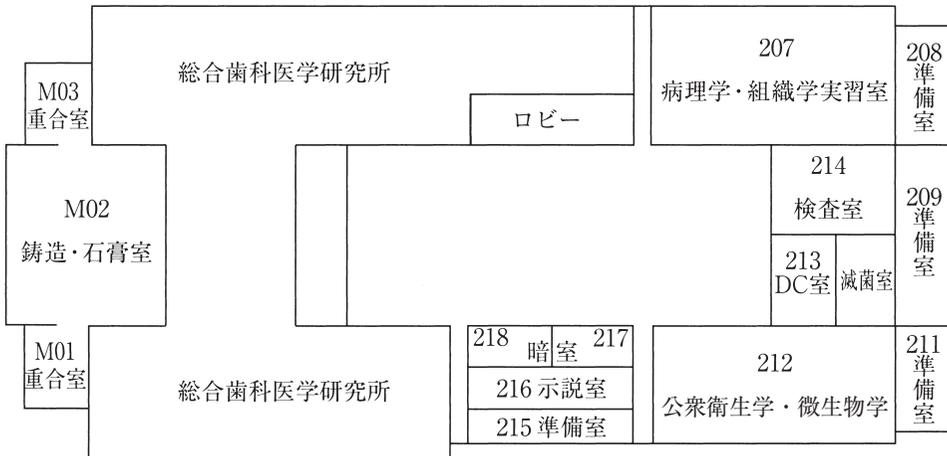
3 F	北川教授（生理学） 宇田川教授（生化学） 荒教授（薬理学） 教室（312） 実験室（306、308、309） 実習室（317）
2 F	教室（216）、総合歯科医学研究所 実習室（207、212）
1 F	黒岩教授（理工学） 実習室（101、113） 共同教員室
B F	学生ロッカー室



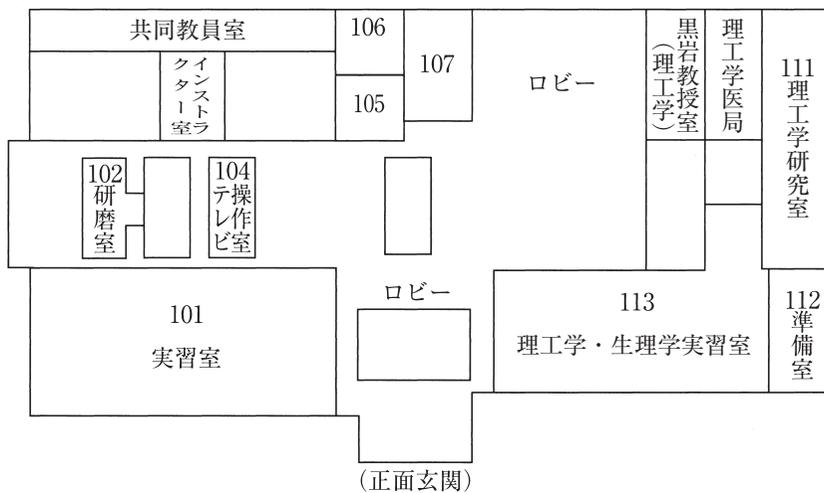
3F



2F

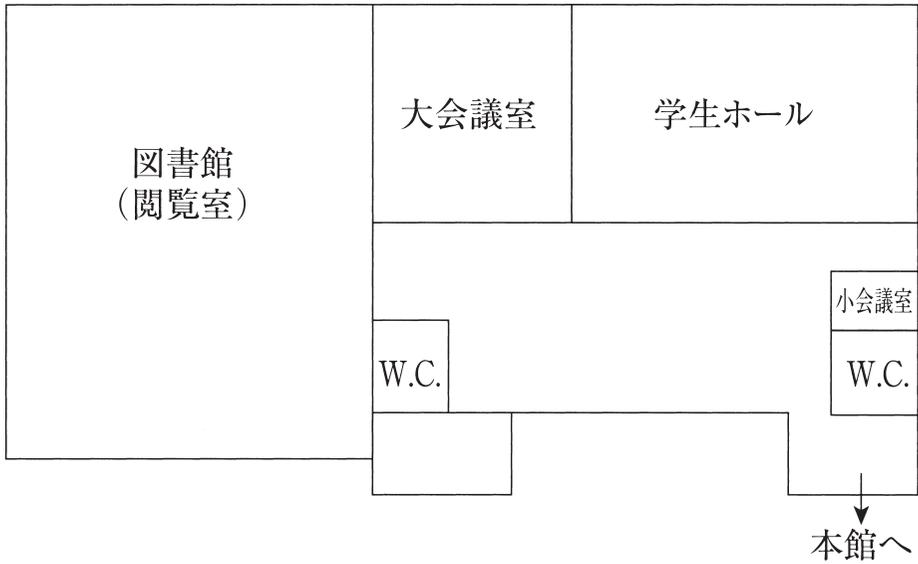


1F

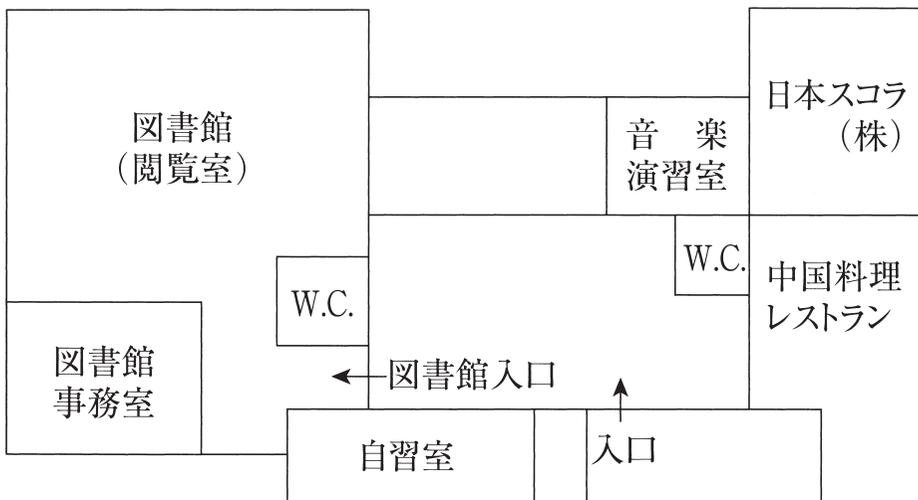


図書会館概要

2F

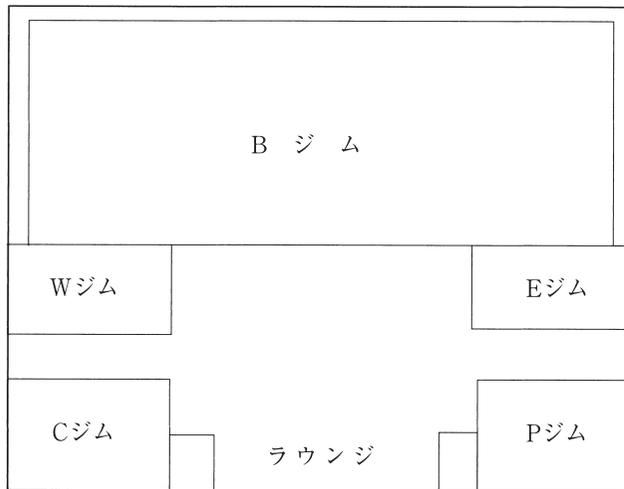


1F

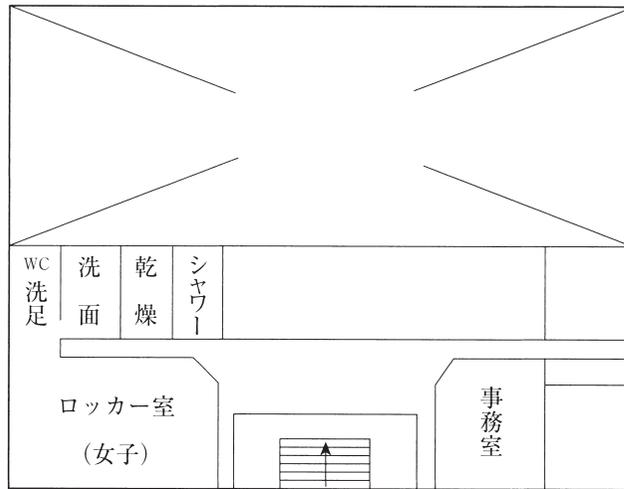


体育館概要

3F

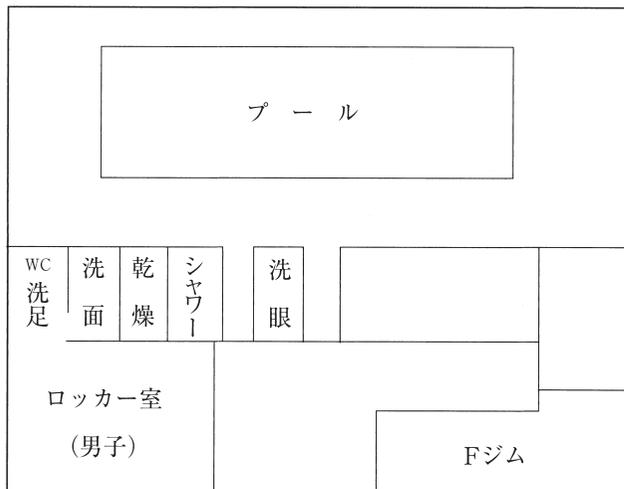


2F



入 口

1F



授業大要（シラバス） 2025 年度

発 行 2025 年 3 月

松 本 歯 科 大 学

川 原 一 祐

印 刷 日 本 ハ イ コ ム 株 式 会 社

